

ホーム /
CSRへの取り組み

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境へのやさしさを目指して](#)
- [ステークホルダーとの
かかわり](#)

過去のアーカイブ

- [CSRレポート2007
\(PDFファイル\)](#)

ルネサス CSRへの取り組み

RENESAS CSR REPORT

2008年10月31日更新

▶ イントロダクション

CSRに取り組むルネサス、その全体像を把握することができます。

▶ ルネサスのCSR

CSRに対するルネサスの基本的姿勢と考え方をご理解いただけます。

▶ 法令遵守を超えて

法令や国際ルールの遵守はもちろん、高い企業倫理の下での経営を目指します。

▶ 個人の尊重に向けて

社員の安全、健康を考えるとともに、働きやすい職場づくりを考えます。

▶ 環境へのやさしさを目指して

地球環境を考えた製品づくりから、社員ひとり一人の環境保全への取り組みまでお伝えします。

▶ ステークホルダーとのかかわり

地域社会、顧客、取引先など、ルネサスは様々なステークホルダーに支えられ活動しています。

[編集方針 掲載対象範囲](#)

イントロダクション

- トップメッセージ
- 会社概要
- 事業状況

- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への優しさを
目指して
- ステークホルダーとの
かかわり

イントロダクション

RENESAS CSR REPORT 2008

CSRに取り組むルネサス、その全体像を把握することができます。

トップメッセージ

「安心・快適・夢」を追求し、トータルで効率のよい持続可能な社会に貢献してまいります。

会社概要

ルネサステクノロジの会社概要です。

事業状況

近年の売上高、利益等の推移とルネサスグループの構成をご紹介します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション

トップメッセージ

会社概要

事業状況

ルネサスのCSR

法令遵守を超えて

個人の尊重に向けて

環境への優しさを

目指して

ステークホルダーとの
かかわり**イントロダクション****トップメッセージ**

**「安心・快適・夢」を追求し、
トータルで効率のよい持続可能な社会に
貢献してまいります。**

株式会社ルネサス テクノロジー
会長&CEO 伊藤 達

「安心・快適・夢」の実現にむけて

私たちルネサステクノロジーは、設立時に企業理念として「安心・快適・夢」の追求を掲げ、半導体を核にそれを実現していくことを宣言し、設立から現在まで、この企業理念に則った事業運営を目指してきました。そして、5年という節目を迎え、これまでの自分たちの行動を評価する時期に入ってきました。

私たちは「半導体のサプライヤー」として「安心・快適・夢」を追い求めていますので、私たちのつくる製品がこの理念を実現するものでなくてはなりません。いま、この実現に大きな課題となっているのが、地球温暖化をはじめとする環境問題です。社会全体がエネルギー効率をいかに高めて、地球温暖化を防ごうかと努力している中で、効率化の核となるものが半導体を使った制御テクノロジーです。その意味において、当社の場合は「半導体製造という本業を真摯に行っていくことこそが、環境と社会への貢献につながるのだ」と、人一倍強く思っています。

これからの課題はトータルな視点をもつこと

CSRという言葉が独り歩きし、一つひとつ細かいテーマごとに捉えていた数年前と異なり、今日では「CSRとは経営そのものである」という考え方が広まってきています。これは環境問題も同じで、CO₂削減や廃棄物のリサイクルなど個々の活動を大きな成果へと昇華させていくためには、「トータルとしていかにエネルギー効率のいい社会をつくるか」という広い視点をもって考えることが重要です。

半導体の本質は、まさに「トータルで効率のいい社会」をもたらすものであることです。例えば自動車のエンジン制御による省燃費、エアコンのインバータ制御による省電力、洗濯機のセンサーを活用した節水などあらゆる分野の効率化に貢献しています。しかし一方で、半導体は自動車や家電製品などの最終消費財に組み込まれることで、はじめてその性能を発揮することができ、半導体のみでCO₂を削減できるというものではありません。お客様であるメーカーと連携してこそ、私たちの製品が社会に貢献できる機会をいただけるわけです。

これからはCSRにしても環境活動にしても、自分の会社のみで完結すると考えるのではなく、互いに協力し、その成果を共有し、トータルで大きなムーブメントに育て上げていくことが必要となってくるのではないのでしょうか。そのため、当社としても半導体の役割を広く社会に理解していただくための情報提供も継続して実施していきます。

ステークホルダーとともに

まず大前提として、私たちは、ステークホルダーの皆様との信頼と共感とに支えられているとの認識の下、企業倫理の確立に向け不断の努力をしております。そして、その上で企業市民としての責任の一環として、私たちはステークホルダーの皆様との関係を強化し、事業においてはサプライチェーン全体を環境配慮型に構築するとともに、様々なステークホルダーとの課題解決に協調して取り組むことを目指しています。

特に働きやすい職場づくりを一過性でなく、絶え間ない改善を図っていくべき継続課題として取り組み、私

たちがワーク・ライフ・バランスの実現を目指している企業であることを常に社員に発信し続けています。

環境面では、WSC(世界半導体会議)にて定められた業界目標を大幅に超えて達成したPFCガス排出量削減や自治体と共同で実施した高知事業所の太陽光発電設備導入など、業界や地域と協働して推進する活動に注力してまいりました。

基本的CSRから付加価値的CSRへ

会社設立から5年間は、CSR活動の第一期として「CSR憲章」の策定等、理念の構築から取り組んできました。2007年度は、その第一期の最終仕上げ年度であるとともに第二期のスタート準備という位置付けになりました。「やらなければならないことをきちんとやる」第一期と、「よりポジティブにプラスアルファを考えていく」第二期。それを同時に進めたのが2007年度の活動です。

しかしながら常に周囲の状況は変化していますので、第一期の活動も止めてしまうのではなく、第二期でも継続し、第一期の実績に第二期の取り組みを上乘せしていくことをイメージしています。事業活動全体のオペレーションの質を高めることで、ステークホルダーの皆様からの信頼を一層高めていく所存です。皆様には、変わらぬご支援・ご指導をお願いいたします。

伊藤 達

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ **INTRODUCTION**

トップメッセージ

会社概要 →

事業状況

■ **ルネサスのCSR**

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への優しさを

目指して

■ ステークホルダーとの
かわり

会社概要

INTRODUCTION

- **会社名** 株式会社ルネサス テクノロジ(英文名称:Renesas Technology Corp.)
- **本社所在地** 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)
- **資本金** 500億円(株式会社日立製作所55% 三菱電機株式会社45%)
- **設立日** 2003年4月1日
- **事業内容** マイコン・ロジック・アナログ等のシステムLSI、ディスクリート半導体、SRAM等のメモリ製品の開発、設計、製造、販売、サービスの提供
- **売上高** 9,505億円 <2007年度(連結)>
- **従業員数** 約26,800名 <2008年3月現在(連結)>
- **代表者** 会長 & CEO 伊藤 達、社長 & COO 塚本 克博
- **グループ会社** 国内21社* 海外23社*

* 2008年4月1日現在

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

イントロダクション

トップメッセージ

会社概要

事業状況

ルネサスのCSR

法令遵守を超えて

個人の尊重に向けて

環境への優しさを

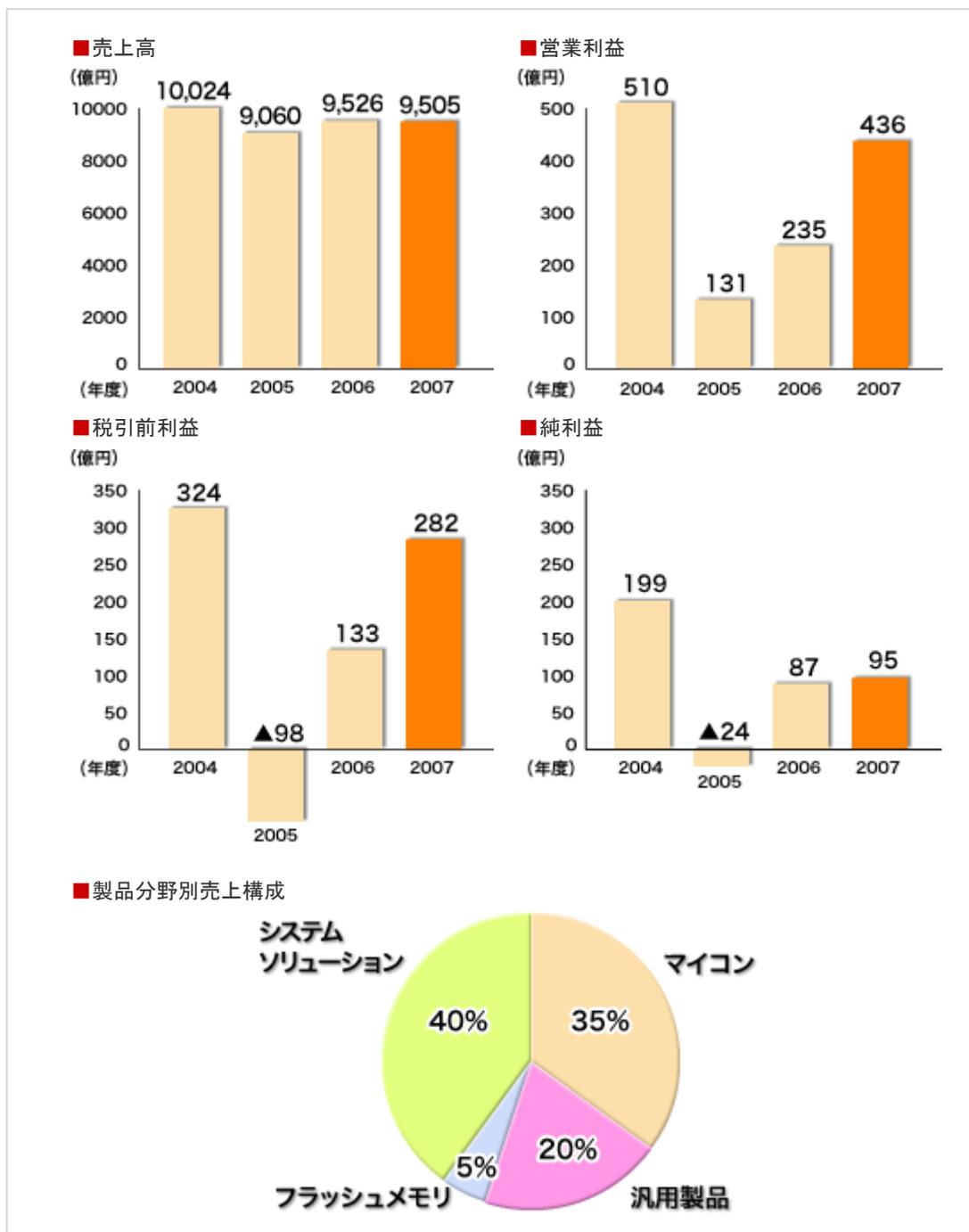
目指して

ステークホルダーとの
かかわり

イントロダクション

事業状況

来るべきユビキタス社会を見据え、マイコンとシステムソリューションを中心に4つの分野で高品質の製品とサービスを提供しています。また直近の3年間は、着実に前年を上回る収益を達成しています。



ルネサスグループについて

ルネサスグループは、株式会社ルネサステクノロジを本体とし、「販売」、「設計・応用技術」、「製造」、「事

業」、「エンジニアリングサービス」、「情報システムサービス」という6つのカテゴリーのグループ会社で構成されています。

■国内ネットワーク

●株式会社ルネサス テクノロジ

(販売会社)

●株式会社ルネサス販売

●株式会社ルネサスデバイス販売

(設計・応用技術会社)

●株式会社ルネサスソリューションズ

●株式会社ルネサスデザイン

●キーストリーム株式会社

(製造会社)

●株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ

●北海電子株式会社

●羽黒電子株式会社

●株式会社ルネサス東日本セミコンダクタ

●株式会社ルネサスハイコンポーネンツ

●株式会社ルネサスハイクオリティーズ

●株式会社ルネサス柳井セミコンダクタ

●株式会社ルネサス那珂セミコンダクタ

●株式会社ルネサス長野セミコンダクタ

●株式会社ルネサス九州セミコンダクタ

(事業会社)

●株式会社ルネサスエスピードライブ

(エンジニアリングサービス)

●株式会社ルネサスセミコンダクタエンジニアリング

●株式会社ルネサス高崎セミコン

●株式会社ルネサス小平セミコン

●株式会社ルネサスクオリティエンジニアリング

(情報システムサービス)

●株式会社ルナセンティス情報サービス

■海外ネットワーク

Administration Companies

- China -

Renesas Technology (China) Co., Ltd.

Sales Offices

- Canada -

Renesas Technology Canada Limited

- China -

Renesas Technology (Shanghai) Co., Ltd.

Renesas Technology Hong Kong Ltd.

Renesas Technology Taiwan Co., Ltd.

- Europe -

Renesas Technology Europe Limited

Renesas Technology Europe GmbH

- Korea -

Renesas Technology Korea Co., Ltd.

- Malaysia -

Renesas Technology Malaysia Sdn. Bhd.

- Singapore -

Renesas Technology Singapore Pte. Ltd.

- U.S.A. -

Renesas Technology America, Inc.

Design and Application Technologies Companies

- China -

Renesas Semiconductor Design (Beijing) Co., Ltd.

Renesas System Solutions (Beijing) Co., Ltd.

Renesas System Solutions Hong Kong Ltd.

– France –

Renesas Design France S.A.S

– Malaysia –

Renesas Semiconductor Design (Malaysia) Sdn.Bhd.

– Vietnam –

Renesas Design Viet Nam Co., Ltd.

Manufacturing Companies

– China –

Renesas Semiconductor (Beijing) Co., Ltd.

Renesas Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd.

– Germany –

Renesas Semiconductor Europe (Landshut) GmbH

– Malaysia –

Renesas Semiconductor (Malaysia) Sdn. Bhd.

Renesas Semiconductor Technology (Malaysia) Sdn. Bhd.

Renesas Semiconductor (Kedah) Sdn. Bhd.

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ インタロダクション**■ ルネサスのCSR** →[ルネサス企業理念](#)[CSR憲章](#)[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)**■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて****■ 環境への優しさを目指して****■ ステークホルダーとの****かわり**

ルネサスのCSR

RENESAS CSR REPORT 2008

CSRに対するルネサスの基本的姿勢と考え方をご理解いただけます。

ルネサス企業理念

社会全体の中でルネサスグループが果たす役割を認識し、明文化しました。

CSR憲章

ルネサスグループのCSRのあり方を、それぞれのテーマごとに明確にしています。

企業倫理プログラム

ルネサスグループ各社の社員が、高い倫理観に則り、行動するための指針として設定しました。

CSRビジョン

「CSR憲章」および「企業倫理プログラム」の位置づけを図示しています。

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス(企業統治)の強化・運営を目指すルネサスの姿をご紹介します。

CSR推進体制

社員ひとり一人がCSR活動をより効果的に進めるための委員会、事務局など。その組織について。

リスクマネジメント

ルネサスグループの内外における事業活動を妨げる要因となるリスクの未然防止と、緊急時の適切な対応について。

情報セキュリティ対策

ルネサスグループでは、情報漏洩事故の防止のために情報管理体制の強化に努めています。

品質保証への取り組み

お客様に安心して使っていただける品質を実現するための、ルネサスグループの取り組みの状況をご覧ください。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ [イントロダクション](#)■ [ルネサスのCSR](#)[ルネサス企業理念](#) →[CSR憲章](#)[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)■ [法令遵守を超えて](#)■ [個人の尊重に向けて](#)■ [環境への優しさを](#)[目指して](#)■ [ステークホルダーとの](#)[かかわり](#)

ルネサス企業理念

[ルネサスのCSR](#)■ **企業理念** ■

ルネサステクノロジは、
世界中の人々の生活のいたるところで存在することで、
安心・快適・夢を支え続けます。

■ **企業ビジョン** ■

【1. ユビキタスネットワーク社会の実現へ】

私たちは、絶え間ない技術革新により、
世界中のお客様にインテリジェントチップソリューションを
提供していきます。

【2. マイクロコンピュータのリーダーとして】

私たちは、幅広いアプリケーションに対応する、
特長のあるマイクロコンピュータを提供し続けます。

【3. 信頼される企業として】

私たちは、信頼される経営を行い、成長し続けます。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)[上へ](#)

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)[ルネサス企業理念](#)[CSR憲章](#) →[企業倫理プログラム](#)[CSRビジョン](#)[コーポレートガバナンス](#)[CSR推進体制](#)[リスクマネジメント](#)[情報セキュリティ対策](#)[品質保証への取り組み](#)**■** [法令遵守を超えて](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)**■** [環境への優しさを](#)[目指して](#)**■** [ステークホルダーとの](#)[かかわり](#)

CSR憲章

[ルネサスのCSR](#)

■ CSR憲章 ■

ルネサステクノロジ、グループ会社およびその社員は、私たちの「企業倫理プログラム」を着実に実行するとともに、お客様やお取引先をはじめとするパートナーや株主、地域社会などのステークホルダーとの共生から生まれる知恵や機会を事業の源泉とし、優れた半導体製品と誠意あるサービスの提供を通じて、安心・快適・夢の実現に貢献し、社会の循環的かつ持続的な発展へ寄与していきます。

【法令遵守を超えて】

私たちは、各国の法令や国際ルールを遵守するとともに、社会の一員として高い倫理観と公正で秩序ある競争理念の下で行動することに加え、その活動をパートナーとともに展開することに努めます。

【個人の尊重に向けて】

私たちは、個人の能力を尊重するとともに、やりがいのある安全で働きやすい職場の構築と確保に努めることに加え、各自が持てる能力を最大限に発揮できるように支援します。

【環境への優しさを目指して】

私たちは、環境の保全、向上および蘇生を地球市民の責任と受け止め、自らが積極的に環境活動に参加するとともに、環境に配慮した半導体製品の開発・製造・販売を促進します。

【暮らしやすい社会のために】

私たちは、地域の文化や習慣を尊重するとともに、社会に貢献するための活動に積極的に参画し、自ら活動します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)[上へ](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR**

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム →

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策

品質保証への取り組み

法令遵守を超えて**個人の尊重に向けて****環境への優しさを目指して****ステークホルダーとの
かかわり**

企業倫理プログラム

ルネサスのCSR

■ 企業倫理プログラム ■

ルネサステクノロジ、グループ各社およびその社員は、各国の法令を遵守するとともに、高い倫理観に則り、常に以下の視点に立って行動します。なお、トップおよび幹部社員は、このプログラムに基づき自ら率先実行し、職場規律の適正な維持管理と活力ある職場作りに努め、所属社員の士気高揚を図ります。

【公正な競争および取引】

1. 私たちは、公正で秩序ある競争理念を行動の基本とし、公正な企業取引を実践します。

【企業の透明性】

2. 私たちは、法令、条例に則り、企業情報等の会社の状況を適時かつ公正に開示します。

【環境への取り組み】

3. 私たちは、全ての事業活動および社員行動において、環境関連法令を遵守します。

【人権尊重】

4. 私たちは、人種、国籍、宗教、性別等いかなる差別も行わず、またセクシャルハラスメント等の人権侵害行為をせずに個人の権利を尊重します。

【反社会的取引防止】

5. 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切取引を行いません。

【情報管理】

6. 私たちは、他社の所有する経営および技術情報の価値を十分に尊重するとともに、当社の有する経営および技術情報の価値を十分に認識し、その厳正な管理体制の確立と管理の徹底に努めます。

【輸出管理】

7. 私たちは、我が国のみならず世界各国の輸出に関する貿易関連法令を遵守します。

【企業人としての自覚】

8. 私たちは、自らの扱う財産、時間、情報等に対し、公私を厳しく峻別し行動します。

■ [イントロダクション](#)

■ [ルネサスのCSR](#)

[ルネサス企業理念](#)

[CSR憲章](#)

[企業倫理プログラム](#)

CSRビジョン →

[コーポレートガバナンス](#)

[CSR推進体制](#)

[リスクマネジメント](#)

[情報セキュリティ対策](#)

[品質保証への取り組み](#)

■ [法令遵守を超えて](#)

■ [個人の尊重に向けて](#)

■ [環境への優しさを](#)

[目指して](#)

■ [ステークホルダーとの](#)

[かかわり](#)

ルネサスのCSR

CSRビジョン

「CSR憲章」と「企業倫理プログラム」の位置づけ



企業理念の礎として、ルネサスのあるべき姿を示したものが「企業ビジョン」であり、本ビジョンの実現に向けた活動方針・行動方針として「CSR憲章」「企業倫理プログラム」を制定しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

- **イントロダクション**
- **ルネサスのCSR**
 - ルネサス企業理念
 - CSR憲章
 - 企業倫理プログラム
 - CSRビジョン
 - コーポレートガバナンス** ➔
 - CSR推進体制
 - リスクマネジメント
 - 情報セキュリティ対策
 - 品質保証への取り組み
- **法令遵守を超えて**
- **個人の尊重に向けて**
- **環境への優しさを**
目指して
- **ステークホルダーとの**
かわり

ルネサスのCSR

コーポレートガバナンス

近年、企業価値の最大化を実現するために、コーポレートガバナンス(企業統治)強化の重要性がますます高まっています。ルネサスでは、企業の社会的責任を果たすことが企業価値を増大させる最も重要な要件であると考え、CSR憲章に基づいた、公正かつ透明性の高い日々の業務執行、スピードある経営意思の決定などを実現するためのコーポレートガバナンスの強化・運営を目指しています。

【取締役会】

経営目標・経営戦略など当社の重要な業務執行を決定します。取締役12名のうち2名が社外取締役となっています。また取締役とは別に8名の業務執行役員を置いています。

【監査役会】

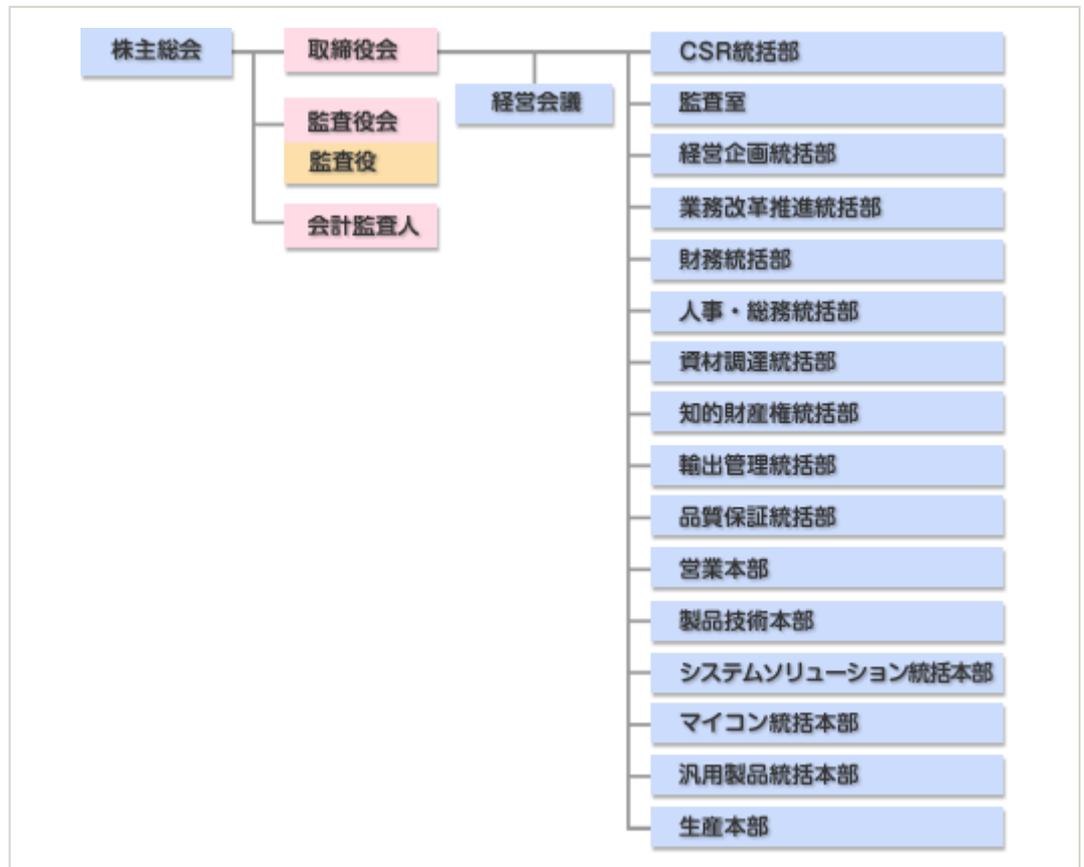
業務が法令や規則、定款に則り行われているかを監督し、監査に関する重要な事項の報告を受け、協議や決議を行います。

法令では社外監査役を半数以上置くことを要求されていますが、ルネサスでは、過半数(4人中3人)の社外監査役を置いており、経営のモニタリング機能(監査機能)の強化を図っています。

【会計監査人】

計算書類などの会計に関する書類が法令に従って作成されているかを監査します。

■ コーポレートガバナンス推進体制

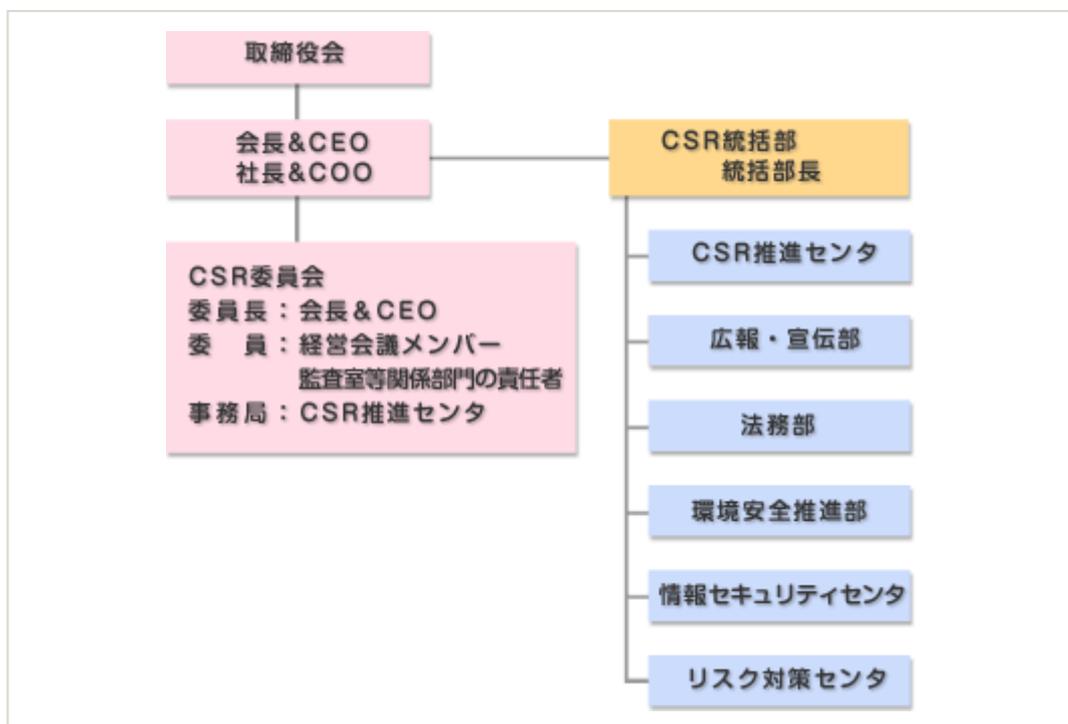


- [イントロダクション](#)
- [ルネサスのCSR](#)
 - [ルネサス企業理念](#)
 - [CSR憲章](#)
 - [企業倫理プログラム](#)
 - [CSRビジョン](#)
 - [コーポレートガバナンス](#)
 - [CSR推進体制](#)**
 - [リスクマネジメント](#)
 - [情報セキュリティ対策](#)
 - [品質保証への取り組み](#)
- [法令遵守を超えて](#)
- [個人の尊重に向けて](#)
- [環境への優しさを](#)
[目指して](#)
- [ステークホルダーとの](#)
[かかわり](#)

ルネサスのCSR

CSR推進体制

CSR活動は、会社にいる一人ひとりが積極的に参加する全員の活動です。従ってCSRを推進する主体は社員一人ひとりですが、その活動をより効果的に進めるための委員会としてCSR委員会を設置し、その事務局としてCSR推進センタがあります。



[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[上へ](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR**

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策

品質保証への取り組み

法令遵守を超えて**個人の尊重に向けて****環境への優しさを目指して****ステークホルダーとの
かわり**

ルネサスのCSR

リスクマネジメント

企業を取り巻くリスクには、「事故災害」「法務(訴訟)」「財務」「労務」「政治」「経済」「社会」の7つの分野があるといわれています。リスク対策センターは、セルフディフェンスと人命の尊重を基本理念とし、ルネサスグループの内外における事業活動を妨げる要因となるリスクの未然防止と緊急時の適切な対応を図ることをミッションとしています。事業のグローバル展開を図っているルネサスでは、国内・海外で起こりうるあらゆるリスクを想定し、以下の4つのポイントを備えるべき課題として設定しています。

- (1)災害・事故(地震、噴火、暴風雨、火災、爆発、破裂、落雷、伝染病など)
- (2)政治紛争(テロ、戦争、革命、内乱など)
- (3)犯罪行為(誘拐、ハイジャック、爆破、放火、脅迫など)
- (4)IT障害(ウィルス、ハッキングなど)

事業継続経営(BCM*)と事業継続計画(BCP*)

自然災害や火災・爆発事故により、被災企業のみならず取引先企業も事業活動に大きな影響を受けた事例を背景として、国内外のお客様からBCM/BCPの導入要請が高まっており、又、日本政府も内閣府・経済産業省ガイドライン、中小企業庁運用指針が公表され、BCM/BCPの導入は、企業の社会的責任の一つとなっています。

かかる状況下、ルネサスグループとしてCSR憲章を基本理念とし、次の方針に基づきBCM/BCPを推進しています。

BCM/BCP方針**BCM/BCP方針**

- 1.BCM/BCPを防災・危機管理の軸と位置づけ、ルネサスグループを取り巻く様々なリスクに対し、予防・回避・克服するために日頃から必要な取り組みを積極的に推進し、継続的な製品・サービスの提供責任の履行並びに経営資源の保全を実現する
- 2.万一、リスクが発生した場合には、お客様・従業員を含め業務に携わる全ての人々の人命を最優先とした対策を実施するとともに、二次災害防止、さらに事業の早期復旧を行う
- 3.BCM/BCPを定期的に点検・見直し、継続改善を行うことにより充実したものとして発展させる
- 4.BCM/BCPの構築および実施にあたっては、地域社会との共存関係の維持向上に留意する
- 5.事業継続・発展のために経営者自らおよび社員一人ひとりが、平時より危機管理・実践的防災意識を高めるとともに、BCM/BCPの構築・推進に責任と使命があることを自覚し、主体的・積極的に参画する

* BCM(Business Continuity Management) / BCP(Business Continuity Plan)

ルネサスグループBCM/BCPの概要

- (1)国内外のお客様から大規模地震発生時の対応について、お問い合わせが増えていることも踏まえ、内閣府の推奨値である「震度6強」の被災を想定し、生産部門、営業部門、人事総務部門、資材部門、IT部門、設計開発部門等の全関係部門が自部門における安全対策、緊急時体制、被害軽減対策、事業継続対策、早期復旧対策を中心としたBCPを策定しています。
- (2)上記のBCPを応用し、地震以外の自然災害、新型インフルエンザなどのリスクに対応したBCPIにも取り

組んでいます。

(3)社内各部門が策定したBCPを経営的に統合・推進し、P・D・C・Aのサイクルにより各BCPを継続的に改善するシステムとしてBCMを構築しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[上へ](#)

イントロダクション

ルネサスのCSR

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策 →

品質保証への取り組み

法令遵守を超えて

個人の尊重に向けて

環境への優しさを

目指して

ステークホルダーとの

かわり

情報セキュリティ対策

ルネサスのCSR

ルネサスグループでは、情報漏洩事故の防止のために情報管理体制の強化に努めており、全社規模の体制として本社に中央情報セキュリティ委員会を設置し、CSR統括部には情報セキュリティ対策専門部署として情報セキュリティセンタを設置して運用しています。また、全ての規範となる情報セキュリティポリシーとその関連規則を整備し、全役員及び全ての社員に周知徹底し、情報セキュリティに関する社内の意思統一を図っています。

情報セキュリティに関する一連の施策として、早くから自社の情報セキュリティのリスク分析を行っており、どこに脆弱性があるかを把握し、きちんとした評価のもとに改善措置を実施しています。

ヒューマンエラー対策

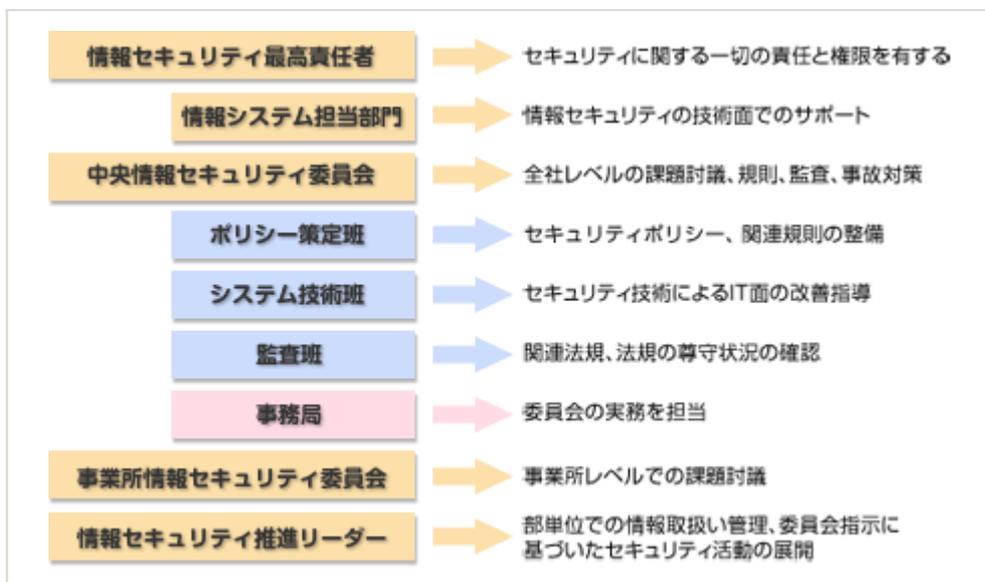
ルネサスでは、情報セキュリティに万全を期すため、全ての社員に機密保持の自覚を促すとともに、ヒューマンエラーに対しては、IT支援ツールを活用するなどの予防措置を行っています。

1. パソコンの紛失・盗難に対しては、第三者による不正なデータ読取への対策として暗号化ツールを導入。
 - ▶ 暗号化ツールにはパソコンを介したデータ授受を記録する機能もあり、万一情報漏洩が起こった際に授受記録をトレースすることにより漏洩元の特定が容易
2. 仕事で個人のPCや記録媒体を使うことを禁止。
 - ▶ PC(暗号化)は会社から貸与。記録媒体はロゴ入りのUSB(暗号化)メモリーを配布
3. 定期的に自己監査を実施
 - ▶ 情報セキュリティの取り組みが実際に機能しているかをチェックリストで定期的に確認

社員教育の実施

情報セキュリティに関する社員教育は、新入社員教育等の職能別教育でセミナーを開催しているほか、独自に作成した教材を元にe-Learningを利用して全社的な教育を実施しています。また、セミナー等では対応できない小規模の販売店や協力会社向けにビデオ教材を作成。小規模拠点でも本社と同レベルの教育が受けられるよう工夫しています。

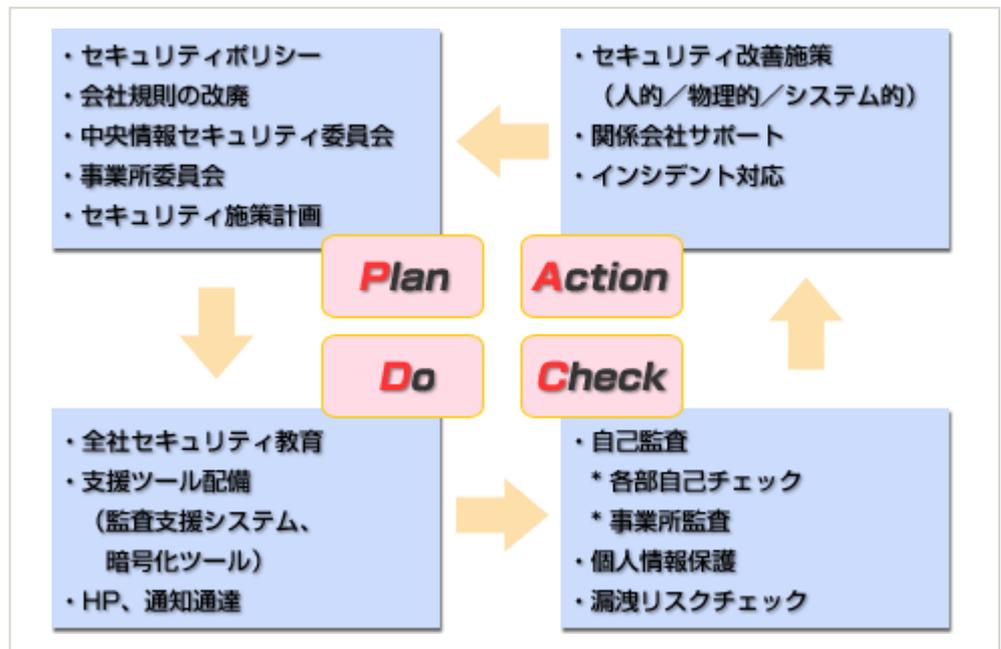
■ 情報セキュリティの体制



■ 情報セキュリティ対策の取り組み状況

| No. | 取組項目 | 概要 |
|-----|-----------|---|
| (1) | 管理体制の整備 | 中央情報セキュリティ委員会及びセキュリティ対策専門組織を設置し、各部門でのセキュリティ活動の展開のため、部毎に推進リーダーを任命。 |
| (2) | 規則の整備 | 情報セキュリティポリシーを最上位の規則と位置付け、セキュリティ対策を実行するための関連規則を整備。また、セキュリティを取り巻く環境の変化に応じて随時見直しを実施。 |
| (3) | 教育・啓蒙 | 全役員及び従業員に対してe-Learning等を活用しセキュリティ教育を実施。また、教育終了時には各種規程や法令の遵守についての誓約書を提出させ、セキュリティ対策の重要性の認識を徹底。 |
| (4) | 支援ツールの導入 | 情報漏洩防止対策として、個人所有のPCやUSB等の利用を禁止すると共に、会社から貸与するPCには暗号化ツールを導入。その他、ウィルス対策やメール/Webのフィルタリング、パスワードクラッキング対策等を実施。 |
| (5) | アクセス制御の実施 | PCの管理者権限のIT部門への集約やイントラネット内のアクセス制御を強化することにより、内部の者によるヒューマンエラー等による事故を防止。 |
| (6) | 監査 | 部門毎にチェックリストによる自己監査を実施。また、中央情報セキュリティ委員会の監査班による現地審査を実施し、情報セキュリティ対策の改善を実施。 |
| (7) | 事故対応 | 事故が発生した際や、発生する可能性がある場合は、各部門から中央情報セキュリティ委員会へ迅速に報告することを義務付け、会社として統一された対応を取るよう体制や規則を整備し、運用を実施。 |

■情報セキュリティの運用サイクル



■個人情報保護方針

■個人情報保護方針■

ルネサステクノロジは、ユビキタス時代のリーダーを目指す半導体メーカーとして、お客様、取引関係者、役員及び社員（嘱託、顧問、パートタイマー、アルバイト、契約社員、派遣社員等を含みます）の個人情報の価値を十分に尊重し、その厳正な管理体制の確立と徹底に努めます。

※ルネサステクノロジの個人情報保護方針の全文は[こちら](#)から

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR**

ルネサス企業理念

CSR憲章

企業倫理プログラム

CSRビジョン

コーポレートガバナンス

CSR推進体制

リスクマネジメント

情報セキュリティ対策

品質保証への取り組み**■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて****■ 環境への優しさを目指して****■ ステークホルダーとの
かかわり**

品質保証への取り組み

ルネサスのCSR

ルネサスは「信頼される企業」を目指すことをビジョンに掲げており、それを達成する重要なポイントのひとつが、お客様に安心して使っていただける品質の製品を提供していくことだと考えています。これを実現させる品質保証の取り組みとして、基本的な品質方針を定め全社員に徹底するとともに、国際規格であるISO9001、およびISO/TS16949を取り入れた、全社的な品質マネジメントシステムを構築し、お客様に満足いただける品質の実現に全員で取り組んでいます。

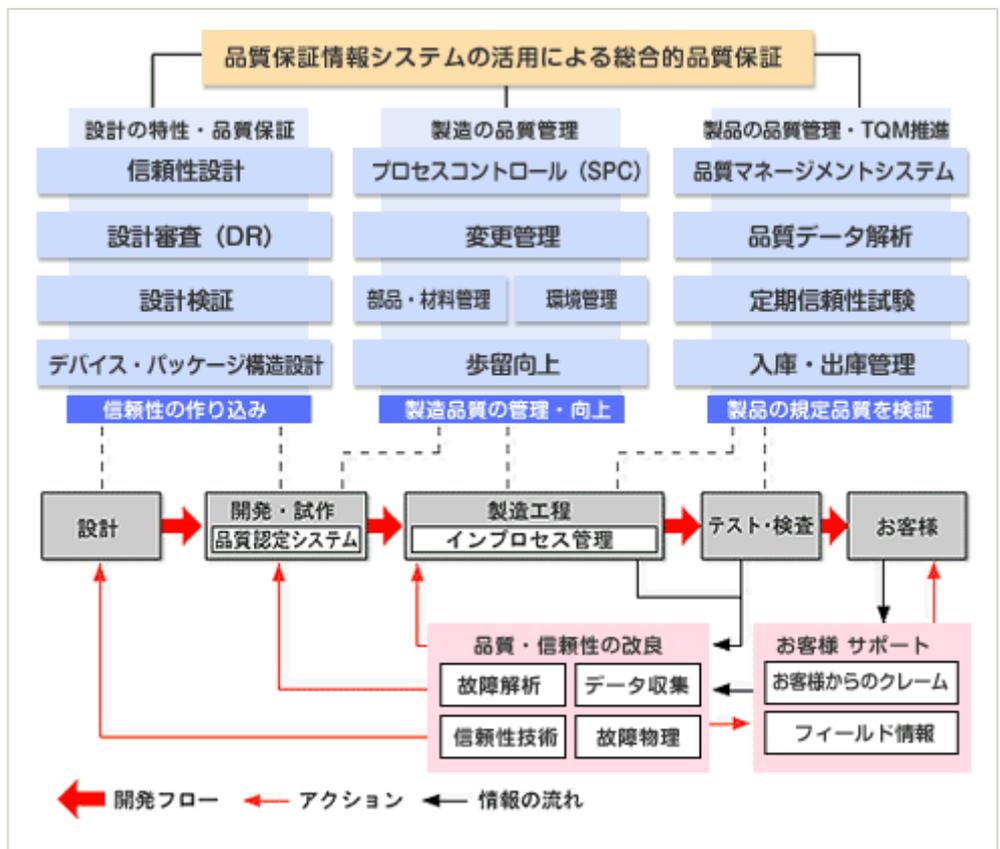
■ ルネサス品質方針**■ ルネサス品質方針 ■**

半導体製品がもたらす社会への影響の継続的拡大を十分に認識し、この認識に基づく品質改善活動を継続的に推進することを、当社の品質基本方針とする。

- 1.お客様に十分満足いただける品質の製品を提供することを第一とする。
- 2.倫理・法令を遵守し、常に注意を怠ることなく業務を行う。
- 3.ISO9001、ISO/TS16949規格に基づいた、品質マネジメントシステムを構築し、そのシステムの有効性の継続的改善を図る。
- 4.下記重点課題に対し、各階層において品質目標を年度ごとに設定し、その達成を図る。また、常にその達成状況をレビューし、フィードバックする。

- (1)開発・設計段階では品質の作りこみを徹底する。
- (2)製造段階ではゆらぎのない品質を目指し、また、異常を早期発見する仕組みをつくる。
- (3)不良品の流出防止を徹底し、お客様への不良品流出ゼロを目指す。
- (4)従業員、及び仕事の質的レベルアップを図る。

■ 品質保証システム



『信頼性ハンドブック』の発行・配布

お客様からのご要望にも応え、ルネサスの品質に関する考え方・品質保証の仕組みをはじめ、製品の開発設計段階からの品質の作りこみのための信頼性技術、故障解析技術までを系統的にまとめた、『信頼性ハンドブック』を発行し、冊子とPDFデータでお客様に配布しております。



『信頼性ハンドブック』冊子版

WebのPDFダウンロードページへのアクセス数も多く、お客様にも好評。
ダウンロードページは [こちら](#) から

ISO9001・ISO/TS16949認証取得状況

| 拠点名 | ISO9001 登録年月 | ISO/TS16949 登録年月 |
|--|----------------------|---------------------|
| ルネサステクノロジ 本社及び各事業所 | 1993年9月 ～1994年10月 | 2004年12月 |
| ルネサス北日本セミコンダクタ 本社及び各事業所 | | |
| ルネサス東日本セミコンダクタ 本社及び各事業所 | | |
| ルネサスハイクオリティーズ | | |
| ルネサス那珂セミコンダクタ | | |
| ルネサスデザイン ルネサスクオリティエンジニアリング | | |
| (以上のISO9001は、ルネサステクノロジ設立前の日立製作所、三菱電機時代に取得) | | |
| ルネサス九州セミコンダクタ | 1994年11月 | 2004年3月 |
| ルネサス柳井セミコンダクタ | 1994年6月 | 2008年1月 |
| ルネサスハイコンポーネンツ | 1994年12月 | - |

| | | |
|---|----------|----------|
| ルネサス販売 | 2006年12月 | 2006年12月 |
| Renesas Semiconductor (Beijing) Co., Ltd | 2001年6月 | 2006年5月 |
| Renesas Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd | 1998年12月 | - |
| Renesas Semiconductor (Malaysia/PENANG) Sdn. Bhd. | 1993年12月 | 2007年9月 |
| Renesas Semiconductor (Malaysia/KEDAH) Sdn. Bhd. | 1993年12月 | 2007年9月 |
| Renesas Semiconductor Europe (Landshut) GmbH | 1993年1月 | 2007年3月 |
| Renesas Technology America Inc. | - | 2004年12月 |
| Renesas Technology Europe GmbH. | 1993年2月 | 2004年12月 |

品質向上への取り組み

微細化と高機能化のスピードが非常に速い半導体製品において、特に高い品質・信頼性・安全性を確保していくために、ルネサスでは「品質は経営の基本である」との観点から、製品の品質向上に積極的に取り組んでいます。

具体的には、全体的なレビューを行う「品質マネジメントレビュー会議」と組織的・経営的な面から品質改善を行う「品質経営委員会」において、全社レベルでの品質に関する評価を実施しています。

また、製品の設計品質を高めるための設計審査、究極的な品質を目指す工程品質管理などを通して、品質改善のサイクルが常に前進するように運営することで、総合品質の向上に努めています。

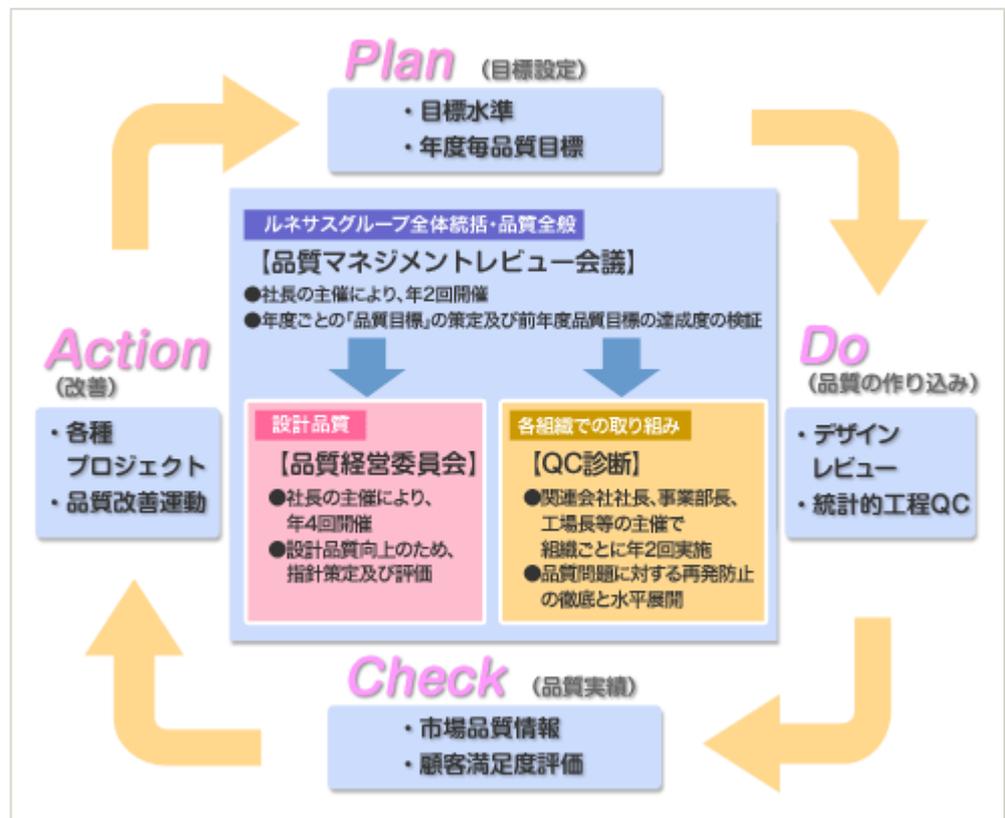
海外拠点における品質向上の取り組み

海外に生産拠点を数多く持つ当社は、海外拠点における品質管理・品質向上も大きな課題と認識し、現地の法令や労働条件、生活文化等に配慮しながら従業員教育をはじめとする様々な施策に取り組んでいます。これまでのような設計は国内、生産は海外ではなく、海外の設計拠点の拡大への対応に力を入れています。

2007年度の具体的な取り組みは以下の通りです。

- (1)品質経営推進による設計源流品質の向上
- (2)ISO/TS16949品質マネジメントシステムの活用推進
- (3)海外製造拠点、アウトソーシング、部材メーカーへの指導強化

■ 品質マネジメントシステム



製品の安全性

ルネサスでは、完成した半導体製品の品質保証はもちろん、半導体を組み込み、搭載されるお客様の最終製品やシステムが安全に動作することが、真の製品安全性であると考えています。

最終製品やシステムの動作環境・使用環境、想定される様々な負荷を想定して、適切な半導体製品を搭載していただくために、お客様と常に緊密なコミュニケーションを図っています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[上へ](#)

■ [イントロダクション](#)■ [ルネサスのCSR](#)■ [法令遵守を超えて](#) →[法令遵守](#)[安全保障輸出管理
への取り組み](#)[反社会的取引防止
活動の推進](#)[内部統制
ルネサス企業倫理
ホットライン](#)■ [個人の尊重に向けて](#)■ [環境への優しさを
目指して](#)■ [ステークホルダーとの
かかわり](#)**法令遵守を超えて**

RENESAS CSR REPORT 2008

法令や国際ルールの遵守はもちろん、高い企業倫理の下での経営を目指します。

法令遵守

ルネサスグループは、会社規則において諸法令の遵守を義務付け、社内教育の実施を通じて社員の遵法意識の涵養を図るとともに、内部監査などを通じて、法令違反行為の防止・是正にあたっています。

安全保障輸出管理への取り組み

国の定める安全保障輸出管理に関する法令遵守はもちろん、企業として自主的に実施すべき事項を取りまとめ、法令を超えたレベルの管理を行っています。

反社会的取引防止活動の推進

反社会的取引の防止に関しては、「企業倫理プログラム」で明確に定め、ルネサスグループとして積極的な取り組みを行っています。

内部統制 ルネサス企業倫理ホットライン

内部統制に関する法令に対応するための取り組みを行っています。また、公益通報者保護法の趣旨を反映した会社規則を制定し、ルネサス企業倫理ホットラインを運用しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)**■** [法令遵守を超えて](#)**法令遵守** [安全保障輸出管理への取り組み](#)[反社会的取引防止活動の推進](#)[内部統制ルネサス企業倫理ホットライン](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)**■** [環境への優しさを目指して](#)**■** [ステークホルダーとのかかわり](#)

法令遵守

[法令遵守を超えて](#)

ルネサスグループでは、法令の遵守を「CSR活動を進める上での前提として最低限確保すべきレベル」と位置づけ、「CSR憲章」において各国の法令や国際ルールを遵守することを宣言しています。

ルネサスグループは、各社の会社規則において諸法令の遵守を義務付け、社内教育の実施を通じて社員の遵法意識の涵養を図るとともに、内部監査などを通じて、法令違反行為の防止・是正にあたっています。

コンプライアンス総点検

各種法令や会社規則の違反リスクの洗い出しを目的としてルネサスグループの各部門において2006年度に実施した「コンプライアンス総点検」の結果を踏まえ、2007年度においても業務のあり方その他の見直し等を引き続き実施しました。また、コンプライアンス点検をPDCAサイクル化するための検討を行いました。

独占禁止法の遵守

ルネサスでは、独占禁止法の遵守を徹底するために社員教育の強化を進めています。従来から実施していた営業職や管理職に対する教育に加え、2007年度はe-Learningシステムを用いて国内関係会社を含めた全社員に対して教育を実施したほか、国内およびアジアの拠点の社員への巡回教育を行いました。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)**■** [法令遵守を超えて](#)[法令遵守](#)[安全保障輸出管理への取り組み](#) →[反社会的取引防止活動の推進](#)[内部統制](#)[ルネサス企業倫理](#)[ホットライン](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)**■** [環境への優しさを](#)[目指して](#)**■** [ステークホルダーとの](#)[かかわり](#)

安全保障輸出管理への取り組み

[法令遵守を超えて](#)

ルネサスグループの半導体製品とその技術は、あらゆる産業分野で活用されています。情報通信や安全管理等に半導体テクノロジーが欠かせない現在、国際的な平和・安全の維持を妨げる目的に転用されることのないよう、日頃から適切に取り扱う必要があります。

ルネサスグループでは、国の定める安全保障輸出管理に関する法令遵守はもちろんのこと、企業として自主的に実施すべき事項をコンプライアンスプログラムに取りまとめ、法令を超えたレベルの管理を行っています。

また、社員の誰もが最新の世界情勢に合わせた適切な対応ができるよう、安全保障輸出管理の重要性の認識教育を、グループ全体で実施しています。さらに定期的に監査を実施し、必要により改善を図ること、常に適正な状態が維持されるように管理しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR****■ 法令遵守を超えて**

法令遵守

安全保障輸出管理
への取り組み**反社会的取引防止
活動の推進** →内部統制
ルネサス企業倫理
ホットライン**■ 個人の尊重に向けて****■ 環境への優しさを
目指して****■ ステークホルダーとの
かかわり**

反社会的取引防止活動の推進

法令遵守を超えて

「企業倫理プログラム」において、「私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切取引を行いません」と定め、反社会的取引(いわゆる総会屋活動およびこれに類似する不正な収益を企業から獲得する活動を行う者との直接または間接の取引)の防止にルネサスグループとして積極的に取り組んでいます。具体的には、各事業所・各関係会社に自己検証委員会を設置し、自己規律をもって取引可否を判断し、反社会的取引の防止に努めています。また、グループ全体を統括する中央自己検証委員会を設置し、方針の決定、啓蒙・指導活動、各事業所・各関係会社の運用状況の確認等行っています。

2007年度は、各種契約締結に際し、暴力団排除条項を契約書に織り込むことを推進することに着手しました。また、事件として世間を賑わせているオレオレ詐欺を始めとする悪質商法について、ルネサスグループの従業員及び家族に被害が及ばないように注意喚起を実施しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて**

法令遵守

安全保障輸出管理
への取り組み反社会的取引防止
活動の推進**内部統制****ルネサス企業倫理
ホットライン** →**個人の尊重に向けて****環境への優しさを
目指して****ステークホルダーとの
かかわり**

内部統制 ルネサス企業倫理ホットライン

法令遵守を超えて

内部統制

2006年に施行された会社法に対応するため、内部統制システムの整備状況を確認の上、取締役会にてその基本方針に関する決議を行いました。また、財務情報の適正性を確保するために必要な体制等を求める金融商品取引法（いわゆる日本版SOX法）についても、その対応に向けた取り組みを行っています。

ルネサス企業倫理ホットライン

2006年4月に施行された「公益通報者保護法」に基づき、ルネサスでは、本法律の趣旨ならびに「ルネサスCSR憲章」に基づく企業倫理に関する考え方に鑑み、この法律の施行に先立って、2006年1月10日付で「ルネサスグループ企業倫理ホットライン運用規則」を制定。同時に通報者の窓口となる「ルネサス企業倫理ホットライン」を設置し、運用を開始しました。

組織的または個人による倫理（公序良俗）、法令、規則に違反する行為または違反するおそれのある行為により、会社は、結果として人的・物的に多大な損失を被ることとなります。また社会に対しても大きな影響を与え、企業や業界への不信感を育ててしまう恐れもあります。このような行為の抑止と、万一の場合の迅速かつ適正な対応を図るべく、グループ全社で「ルネサス企業倫理ホットライン」の活用に取り組んでいます。

「ルネサス企業倫理ホットライン」の2007年度相談実績は2件あり、これらの事案の中に違法行為に繋がる事実はありませんでした。コンプライアンス総点検の結果、法令や会社規則等に違反する問題が無いことを確認することができましたが、引き続きその状態を維持していく手段の一つとして「ルネサス企業倫理ホットライン」は大いに有効と考えますので、“より通報し易いシステム”に改善し、“通報することへの抵抗感をより小さくする工夫”に努めております。また、併せて社内報やイントラネットで「ルネサス企業倫理ホットライン」のPRを進めております。

※公益通報者保護法：事業者の違反行為について通報を行った労働者を解雇などの不利益な取扱いから保護することを定めた法律。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

■ インTRODクシヨン**■ ルネサスのCSR****■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて** →

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

福利厚生と
次世代育成支援

**■ 環境への優しさを
目指して****■ ステークホルダーとの
かかわり****個人の尊重に向けて**

RENESAS CSR REPORT 2008

社員の安全、健康を考えるとともに、働きやすい職場づくりを考えます。

人が育つ会社となるために

ルネサスの人材に関するこれからの取り組みの考え方や人事処遇制度のコンセプトなどをご紹介します。

人材育成

時代の変化に即応できる人材を育てるための、個々の人材の強化と組織の活性化に向けた取り組みについて。

多彩な人材の活用

障害者の採用活動を継続するとともに、障害者にとっても働きやすく、魅力的な職場を作りを進めています。

人権啓発活動について

ルネサスは、働く全ての社員の人格・人権を尊重し、差別のない誰もが働きやすい職場作りを目指しています。

労働安全衛生と健康管理

ルネサスでは、社員の安全と健康を守り、働きがいのある快適な職場環境の形成を企業活動の基本として、日々の活動に取り組んでいます。

福利厚生と次世代育成支援

社員一人ひとりの安心と勤労意欲向上に向けた福利厚生制度、および仕事と家庭の両立をサポートする次世代育成の支援制度について。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

■ イントロダクション**■ ルネサスのCSR****■ 法令遵守を超えて****■ 個人の尊重に向けて****人が育つ会社となるために** →

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理福利厚生と
次世代育成支援**■ 環境への優しさを
目指して****■ ステークホルダーとの
かわり**

人が育つ会社となるために

個人の尊重に向けて

ルネサスでは「人材と組織の活性化」を経営基盤の重要な要素と位置づけ、個人→会社→社会の発展が同心円で拡大していくことを目指し、人事に関する様々な取り組みを推進しています。

また、会社にとって重要な財産と言える社員に対し、公正な処遇に心がけ、その個性・多様性を尊重し、社員一人ひとりが高いモチベーションを持って仕事に取り組めるよう様々な支援を行っています。2005年には、ルネサスグループ全社を対象とした人事処遇制度のコンセプトを定め、取り組んでいます。

人材に関するこれからの取り組みの考え方

1. 仕事を通じて、一人ひとりが、技術・知識・スキルを向上させるとともに、職業人・社会人としても成長していくことを大切にする
2. 組織の結集力を高め、一人ひとりの潜在能力をフルに発揮させる。その具体的な成果を、直接、間接に会社の発展につなげていく
3. 事業活動を活発にすることで、ルネサスの追及する『安心・快適・夢』の価値を、より多く広く社会に提供していく

人事処遇制度のコンセプト

1. ルネサスの人事処遇制度は「役割・成果主義」をコンセプトとして構築
2. 役割レベル、またその役割における行動・成果に応じ賃金・賞与を支給
3. 成果主義を基本とするが、成果のみを処遇に反映するのではなく、行動も重視する
4. また、処遇評価、能力開発、配置が三位一体となり、相互に連動・循環する制度を目指す

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)



製品 アプリケーション サポート

キーワード / 型名

その他の検索

ホーム / CSRへの取り組み / 個人の尊重に向けて /

人材育成

このページへのご意見
このページを印刷

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて

人が育つ会社となるために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

福利厚生と
次世代育成支援

■ 環境への優しさを
目指して

■ ステークホルダーとの
かわり

人材育成

個人の尊重に向けて

ルネサスが継続的に成長・発展し、広く社会に貢献していくためには、社員一人ひとりの成長と活躍が不可欠です。ルネサスでは、グループ全社の人材育成を促進する組織として「人材育成委員会」を年2回開催し、全社の人材育成方針の作成、具体的な施策の実施、予算配分などを行っています。また各事業所にもそれぞれ事業所単位の人材育成委員会を設け、本社で打ち出した人材育成方針を受けて、現場レベルでの各施策に取り組んでいます。

時代の変化に即応できる人材を育てるため、人材育成方針は年度ごとに改善・修正が行われ、「社員意識調査」で集められた社員一人ひとりの声も反映されます。例えば、クロスメンター制。新入社員一人一人に対し、「メンター」として設定された他部署の入社5～6年の若手社員が、新入社員の会社生活・仕事上の「悩み」の相談に乗り、新入社員の育成をサポートする制度です。社員意識調査や若手社員の意見を吸い上げ、08年6月に導入しました。新入社員と若手社員のコミュニケーション力とチームワーク力を向上させて、双方の成長を加速し、ルネサス全社の組織の活性化につながる仕組みです。

■ 人材と組織の活性化に向けた取り組み

| 区分 | 項目(各社・各層にて項目の相違があるが、同様の考え方で展開) |
|------------|---|
| 1 <個の強化> | 個人別のスキルの向上・能力開発計画の拡充 |
| | 国際化力の強化(国際感覚の付与機会増加、海外業務キャリアの明確化、海外勤務者へのケアの充実等) |
| | 事業所単位での教育施策の拡大(階層別研修の充実) |
| | 関係会社と海外現地法人の教育体系の整備・拡充 |
| | 開発・設計技術者を中心とした採用数の増加とリクルート活動の拡大 |
| | 多様な人材及び外部リソースの活用強化 |
| 7 <結集力の高揚> | 幹部と中堅・若手層のコミュニケーションの増加 |
| | 部門別研修の継続・質の向上 |
| | 目標管理制度(MBO)の更なる有効活用(コミュニケーションツール) |
| | クロスメンター制の実施(新人を他職場の先輩社員がサポート) |
| | 若手層のコミュニケーション能力向上研修の全社展開 |
| 12 <処遇その他> | 昇給・賞与制度運営のリファイン(メッセージ性の向上ほか) |
| | 表彰制度の拡充(より積極的に、きめ細かく、タイムリーに表彰可能な仕組みを構築) |
| | ライフワークバランスの追求 |
| | 社員意識調査の実施 |

■ ルネサス全社教育体系

| | 新人 | 担当者～係長 | 課長 | 部長以上 |
|-------|----------------------|--------------|---------|-----------|
| 階層別教育 | 導入教育 | メンター導入研修 | 選抜課長級研修 | 選抜部長級研修 |
| | 1年目振り返り研修 | 育成担当者研修 | | |
| | 研修成果報告 | 新任係長級研修 | 新任課長級研修 | リーダーシップ研修 |
| 技術教育 | 基礎コース | 専門コース(約70講座) | | |
| | 特許研修 | スキルチェックトライアル | | |
| 職能研 | 営業事例研修 | | | |
| | 営業実務/スキル/技術知識(約80講座) | | | |

| | | |
|---------------|---------|--|
| 修 技能 教育 | | 生産リーダー育成研修 |
| | 基幹職新人教育 | ルネサスSETカレッジ 社内技能検定 |
| | | 海外留学/OJT |
| 国際化教育 | | 選抜中国語教育 社内英語検定 |
| | | |
| ビジネス スキル教育 | | 国内留学(大学/ビジネススクール派遣) ロジカルシンキング・プレゼンテーション研修 |
| | | |
| 共通教育 | | RISM研修 幹部推薦図書 CSR教育 |
| | | |
| | | |
| 自己啓発 支援 | | 通信教育 語学研修(英語・中国語) |
| | | |

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて****個人の尊重に向けて**

人が育つ会社となる
ために

人材育成

**多彩な人材の活用
(社員コメント)**

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

福利厚生と
次世代育成支援

**環境への優しさ
を目指して****ステークホルダーとの
かかわり**

多彩な人材の活用

個人の尊重に向けて

ルネサスにおける障害者雇用率は、2008年6月1日時点で1.89%です。昨年までは法定雇用率(1.8%)を下回っていましたが、各事業所で雇用促進に向けた取り組みを強化の結果、法定基準を達成することができました。今後とも、誰もがそれぞれの能力を活かせる企業として社会に貢献できるよう、障害者の採用活動を継続していくことはもちろんですが、障害者にとっても働きやすく、魅力的な職場を作っていく取り組みを促進していきます。

バリアフリー環境の整備

北伊丹事業所では、従業員の憩いの場となっている社屋上を、身体的なハンディを持つ社員にも気軽に利用できるよう屋上への通路にエレベーターやスロープを設置しています。また、今後建築物や施設の新規建設、リニューアルを行う際には、様々な角度からバリアフリー環境の整備を実施する方針です。



北伊丹事業所、車椅子専用のエレベーター

社員コメント

自ら聴覚障害をもちつつ、ルネサス社員みんなの健康づくりをサポートしている社員に、ルネサスの障害者雇用の現状と仕事への想いを語ってもらいました。

これからもずっと健康づくりに関する仕事に関わっていきたい。

ルネサス健康保険組合
得利 雄介(とくよし ゆうすけ)

今の職場やお仕事の内容に満足されていますか？また、業務を行う上で、苦勞する点がありますか？

私の職場は、ルネサス健康保険組合です。担当している仕事は、従業員やその家族の方が健康診断を受けた健診費用の一部を補助する補助請求書の内容に誤りがないか、チェックし、月末に正しい金額を支払う仕事です。毎日楽しく仕事をしており、仕事が終わった後、速く走ることを目標に練習している陸上に打ち込むことが出来るので満足しています。

特に苦勞はしていませんが、事務所に社員の方が来られた時、自分が聴覚障害者であることをご存知なくて声をかけられると対応に困ってしまうことはあります。

人材の多様性に対するルネサスの状況をどのように感じられていますか？

現在、ルネサスにいる聴覚障害者は自分も含めて4人ですが、今後も聴覚障害者の採用が増えるといいなと思っています。

コミュニケーションで不安に思うことはありますか？

初めて会う人は不安に思いますが、何回もコミュニケーションをとれば大丈夫だと思います。職場の皆さんが声を大きく、ゆっくりと話してくださるのでとても助かっています。

今後も今の仕事を続けていきたいとお考えですか？また、仕事やプライベートで実現したい夢はありますか？

今後の事はわかりませんが、ずっと今の仕事を続けたい気持ちはあります。健康づくりに関する仕事に携わっているので、皆さんも自分も健康に気を付けて働くことが出来ればいいなと思って

います。

夢は、自転車に乗ることが大好きなので、自転車でロードレースの発祥地であるフランスの街を“1人”だけで走ってみたい。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

■ [イントロダクション](#)**■** [ルネサスのCSR](#)**■** [法令遵守を超えて](#)**■** [個人の尊重に向けて](#)[人が育つ会社となる
ために](#)[人材育成](#)[多彩な人材の活用
\(社員コメント\)](#)[人権啓発活動](#) **➔**[労働安全衛生と
健康管理](#)[福利厚生と
次世代育成支援](#)**■** [環境への優しさを
目指して](#)**■** [ステークホルダーとの
かかわり](#)

人権啓発活動について

[個人の尊重に向けて](#)

人権問題の解決は国民的課題であり、この問題に関する企業の社会的責任は重大なものといえます。ルネサスは、働く全ての社員の人格・人権を尊重し、差別のない誰もが働きやすい職場作りを目指しています。そのために「人権啓発推進委員会」を年1回開催し、社員一人ひとりがその本質を理解するため、研修などの啓発活動を通じて人権意識の浸透に取り組んでいます。またセクシャルハラスメントについては、「セクシャルハラスメント防止に関する全社指針」を定め、セクシャルハラスメントならびに疑われる行為の防止に努めるとともに、「セクシャルハラスメント相談・苦情窓口」を設け、相談しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて****個人の尊重に向けて**

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

**労働安全衛生と
健康管理**

福利厚生と
次世代育成支援

**環境への優しさを
目指して****ステークホルダーとの
かわり**

労働安全衛生と健康管理

個人の尊重に向けて

社員の安全と健康を守ることが、最優先事項であると考えます。ルネサスでは社員の安全と健康を守り、働きがいのある快適な職場環境の形成を企業活動の基本として、日々の活動に取り組んでいます。実際の活動は、「全社安全衛生会議」において審議・決定された、防災・安全衛生中期計画並びに年度方針に基づき、事業所ごとに安全活動を推進しております。各事業所では、事業所長をトップとした「労働安全衛生委員会」のもとで、各職場の労働安全・衛生環境をチェックし、そこで改善すべき報告があった場合は、事業所ごとの対応とともに「全社安全衛生会議」に報告され、検証とさらなる安全の徹底が実施されます。2007年度には、対象となる全事業所(7事業所)が、労働安全衛生マネジメントシステム(OHMS)の認証を取得しました。現在、本質安全の実現の為、システムの柱となるリスクアセスメントを鋭意推進し、災害ポテンシャルの撲滅に向けて、従業員全員参加の活動を続けております。

メンタルヘルスケア

ストレス社会といわれる現代では、体の健康と同時に心が健康であり続けることが極めて大事なことで認識されています。ルネサスにおいても、メンタルヘルス対策を関係会社も含めた全事業所において実施しています。

「健康管理センター」にて産業医や契約カウンセラーの診断・カウンセリングが、誰でも気軽に受けられるように相談環境を整えたほか、各研修プログラムにメンタルヘルスの研修時間を十分に盛り込むなど、社員が「健康で、かつ明るく、楽しく働ける会社」を目指しています。

また、労働環境の違いからメンタル面での負荷が大きいと考えられる海外出向の社員に対して、出向中のメンタル相談窓口を設置し、帰国時に健康診断を実施し、メンタルヘルスのチェックも行っています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

[イントロダクション](#)
[ルネサスのCSR](#)
[法令遵守を超えて](#)
[個人の尊重に向けて](#)

人が育つ会社となる
ために

人材育成

多彩な人材の活用
(社員コメント)

人権啓発活動

労働安全衛生と
健康管理

**福利厚生と
次世代育成支援**

[環境への優しさを
目指して](#)
[ステークホルダーとの
かわり](#)

福利厚生と次世代育成支援

個人の尊重に向けて

福利厚生制度は、「多様な選択肢と公平性の確保」「適正な受益者負担と自助努力の支援」という基本的な考え方のもと、時代の流れとともに変化する社員のニーズやライフスタイルを的確に捉え、社員一人ひとりの安心と勤労意欲向上に向けた福利厚生制度を目指しています。仕事と家庭の両立をサポートする次世代育成の支援制度は、妊娠・出産・育児・教育の各段階で活用できる複数の制度を整備し、また支援形態も時短勤務、休暇、休職、退職後の再雇用など社員のライフワークに合わせて選べるよう配慮しています。中でも「サポート休暇」は、配偶者の不妊治療や子供の入学式等の行事についても休暇の対象としたルネサス独自の制度です。また、サポート休暇とともに男性の仕事と家庭の両立を支援する制度として「配偶者出産休暇制度」も導入しました。

今後は、各種制度の整備のみにとどまらず積極的な活用を呼びかけ、利用実績の向上にも取り組んでまいります。

■ 仕事と家庭の両立を支援する福利厚生制度とその利用実績

| 制度名 | 内容 | 利用実績 |
|---------|------------------------|-----------------------|
| 出産休暇 | 原則出産前後それぞれ8週間以内 | 2007年度 取得者数33名 |
| 育児休職 | 原則子が満1歳に達する日以後の3月31日まで | 2007年度 休職開始者数36名 |
| 育児短時間勤務 | 最短で6時間就業まで時短可能 | 2007年度 時短勤務開始者数22名 |

サポート休暇制度

サポート休暇制度は、ケガや病気の治療、配偶者の不妊治療、人間ドック等の健康診断、ボランティア活動、入学式や授業参観等子供の養育に関連する行事への参加など様々な休暇ニーズに対して、フレキシブルに活用できる休暇制度です。社員自らの健康管理や社会貢献、仕事と家庭の両立などを幅広く支援するルネサス独自の福利厚生制度として2006年8月に創設されました。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

環境への取り組み →

- ISO14001認証
- グリーン調達
- 各事業所の取り組み
- 環境ビジョン
- 環境レポート
- CSRへの取り組み



環境への取り組み

environmental activities

ルネサステクノロジは、全ての事業活動および社員行動を通じ環境の保全と向上に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献しています。

当社が取り組む環境保全活動はこちらからご覧頂けます。

▶ 環境レポート

当社の2008年度環境活動実績と2009年度目標をまとめた「環境レポート2009」を公開しています。



▶ ISO14001 認証

ルネサスグループの各工場(事業所)におけるISO14001認証取得情報を掲載しています。

▶ グリーン調達

お取引先様に対して、グリーン調達活動を推進するためのページです。

▶ 各事業所の取り組み

当社の事業所におきまして、独自に公開している情報を掲載しています。

▶ 環境ビジョン

当社の環境基本理念、環境行動指針を掲載しています。

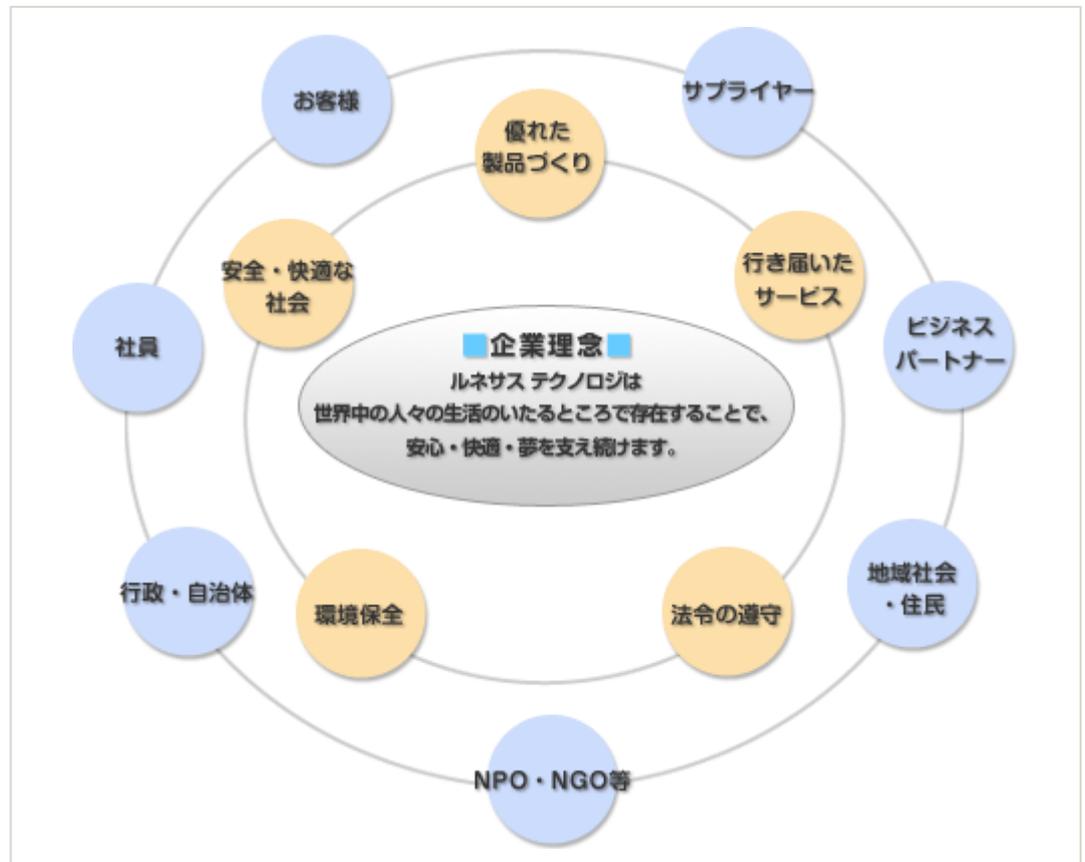
- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への優しさを
目指して
- **ステークホルダーとのかかわり** →
- 暮らしやすい社会の
ために
- ともに明日へ向かって

ステークホルダーとのかかわり

RENESAS CSR REPORT 2008

ルネサスは、様々なステークホルダーに支えられて事業活動を行っています。社会の一員としてステークホルダーとどのようにコミュニケーションしていくかは最優先の経営課題です。多様な価値観の尊重、法令など社会的ルールの遵守、社会的使命への積極的な取り組み、これらのいずれがおろそかになっても社会とのスムーズなコミュニケーションは困難になります。

あらゆるステークホルダーと理解しあい、スムーズなコミュニケーションを図っていくことで、ルネサスが社会から信頼される企業であり続け、持続可能な社会に貢献できるよう真摯に取り組んでまいります。



暮らしやすい社会のために

社会の一員として、地域社会に貢献するルネサスの姿をご紹介します。

ともに明日へ向かって

ステークホルダーと協働、連携して明日を目指すルネサスの活動をご覧ください。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

[ホーム](#) / [CSRへの取り組み](#) / [ステークホルダーとのかかわり](#) /
暮らしやすい社会のために[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)■ [イントロダクション](#)■ [ルネサスのCSR](#)■ [法令遵守を超えて](#)■ [個人の尊重に向けて](#)■ [環境への優しさを
目指して](#)■ [ステークホルダーとのかかわり](#)■ [暮らしやすい社会の
ために](#) +[半導体製品・
サービスを通じた貢献](#)[次世代人材育成
支援活動](#)[『モノづくり』教育支援](#)[地域社会との交流](#)[地域防災活動への
参加](#)[ボランティア活動](#)[海外拠点の
社会貢献活動](#)[その他の活動](#)[ともに明日へ向かって](#)**ステークホルダーとのかかわり
暮らしやすい社会のために**

RENESAS CSR REPORT 2008

社会の一員として、地域社会に貢献するルネサスの姿がここに 있습니다。

半導体製品・サービスを通じた貢献

ルネサスは、半導体製品やサービスの提供をすることにより、社会の様々な分野に貢献できることを喜びとしています。

次世代人材育成支援活動

ルネサスでは、これからの日本と社会を担う若い力のために、教育プログラムへの参加、イベントの協賛などさまざまな支援活動を行っています。

『モノづくり』教育支援 - マイコンカーラリーへの協賛、支援 -

ルネサスは、全国工業高等学校学校長協会の趣旨に共鳴し、ジャパンマイコンカーラリーの第1回大会から機器の提供、大会用機材の貸与、技術講習会での技術指導などの協賛・支援を行ってきました。

地域社会との交流

独自の工夫による地域イベントを企画・開催。また、スポーツを通じた地域の方々とのふれあいにも積極的です。

地域防災活動への参加

ルネサスでは、自分たちの職場は自分たちで守ると同時に、地域の皆様の防災への取り組みにも積極的に参画したいと考え、社員による自衛消防隊を組織し、防災活動に取り組んでいます。

ボランティア活動

地域の清掃活動をはじめ、介護施設、福祉施設への慰問、環境を守るための植樹活動など、多彩なボランティア活動を展開しています。

海外拠点の社会貢献活動

ルネサスの海外23社のグループ会社では、それぞれ独自の社会貢献活動に取り組んでいます。

その他の活動

ルネサスグループによるその他の地域貢献活動についてご紹介します。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
半導体製品・サービスを通じた貢献

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への優しさを 目指して

■ ステークホルダーとの かかわり

■ 暮らしやすい社会の ために

半導体製品・ サービスを通じた貢献

次世代人材育成
支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

半導体製品・サービスを通じた社会貢献

暮らしやすい社会のために

ルネサスは、半導体とその周辺製品および関連サービスの提供を通じて、産業の発展と豊かな社会生活を支えています。2007年2月には、主力商品のフラッシュマイコンが出荷累計10億個を達成するなど、世界の半導体トップメーカーとして、民生・産業・自動車など幅広い分野で活用されています。

CSRでは、第一に企業が社会の一員として、法令及びルールの遵守、社会通念への配慮が求められます。ルネサスでは、地域社会貢献活動の重要性を認識するとともに、事業に基づいた社会貢献が極めて重要であり、強く社会から求められていると考えます。そこで、半導体メーカーとしての役割を通じて社会に貢献しうることが日々模索しています。

人々の生活のいたるところで...

ルネサスは、企業理念の「ルネサステクノロジは、世界中の人々の生活のいたるところで存在することで、安心・快適・夢を支え続けます」とあるように、皆さまが過ごす日々の生活の様々なシーンでルネサスの製品が活躍しています。

ユビキタス社会の実現へ

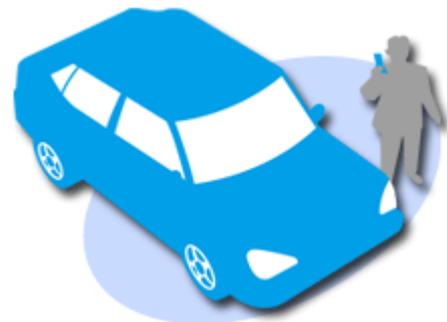


● 快適な家庭生活で

- ・各種家電製品のマイコン制御
- ・ホームネットワークシステム
- ・フラットパネルディスプレイ
- ・ポータブルDVDプレーヤー
- ・デジタルムービー
- ・デジタルカメラ
- ・ポータブルオーディオ
- ・携帯電話

● 自動車の安全に

- ・ハイブリッドカー
- ・カーナビゲーション
- ・エンジン制御
- ・ABS制御など

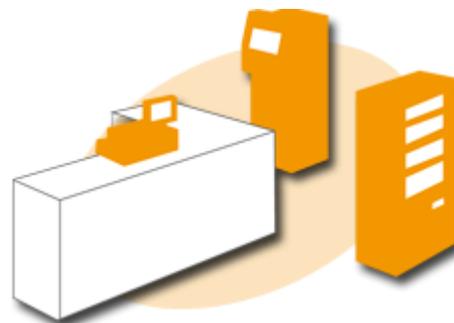


● ビジネスの効率化に

- ・ノートPC
- ・ストレージ
- ・PDA
- ・CIS
- ・複合プリンタ

●暮らしやすい街づくりに

- ・自動販売機・券売機
- ・ATM・CD
- ・POS端末



[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
次世代人材育成支援活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への優しさを 目指して

■ ステークホルダーとのかかわり

暮らしやすい社会の ために

半導体製品・
サービスを通じた貢献

次世代人材育成 支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

次世代人材育成支援活動

暮らしやすい社会のために

ルネサスでは、これからの日本と社会を担う若い力のために、教育プログラムへの参加、イベントの協賛などさまざまな支援活動を行っています。その中のいくつかをここでご紹介します。

ハイテック・ユニバーシティin茨城

ルネサスは、2008年3月、SEMI(マイクロエレクトロニクス製造装置・材料の国際工業会)が主催した次世代育成プログラム「ハイテック・ユニバーシティin茨城」に共催および開催地として協力いたしました。「ハイテック・ユニバーシティ」は、高校生を対象に科学・数学の面白さを、実習を交えながら教え、半導体事業の重要性を伝える世界的な教育プログラムです。日本では2回目の開催となり、茨城県の県立高校に通う36名(男女それぞれ18名)が参加しました。

ルネサスでは、プログラム2日目の会場として那珂事業所を提供。また当社社員を講師として、暮らしの中で活躍する半導体の紹介やエンジニアや開発という仕事とは何かについて講義を行いました。このイベントを契機として、理系への興味を深め、将来の半導体業界を担う技術者となってもらえることを願っています。

■ 主な参加者のコメント

- ・思っていた以上に半導体が身近にあることがよく分かった。
- ・小さな世界を見ることで、大きな世界が見える気がした。
- ・半導体のことはもちろん、「失敗を恐れることはない」という社会に対する見方を学びました。
- ・耳で聞くだけでなく、実際に見学や実験をすることによってさまざまなことを学んだ。
- ・半導体産業についての世界と日本のかかわりがよく分かった。
- ・人とのネットワークが強ければ強いほど、仕事の幅が広がるということが分かった。
- ・小さな半導体には「世界の人々をつなぐ」という大きな仕事があることを知った。

日経エデュケーションチャレンジ2007

「日経エデュケーションチャレンジ」は、日本経済新聞社が主催している高校生のための夏休み・参加型社会体験教室です。半導体のみでなく、金融や化学、食品などさまざまな分野の企業が協賛し、それぞれ第一線で働く社員を講師に、生きた経済のあり方や働くことの異議を学べる場です。

ルネサスは、エレクトロニクス分野の企業として2006年度よりこの「日経エデュケーションチャレンジ」をお手伝いしています。2007年度は、資材部門の社員が113名の高校生に「小さな半導体と大きな仕事～グローバルを感じていますか?～」をテーマとして講義を行いました。



資材調達統括部 主任
Vakil Premal(プレマル ワキル)



講義後は、参加者に課題を提出してもらい、その中から優秀作品に選ばれた受賞者は海外研修ツアーに参加するなど、普段の生活では体験できないさまざまなチャンスを高校生の皆さんに提供しています。ルネサスでは、未来の主役である子どもたちが自分の将来を真剣に考え、社会に明るい希望を抱けるよう、これからもこの取り組みを継続していきます。

■ ルネサステクノロジーの講義を受けた参加者の主なコメント

- ・世界を舞台に活躍している方の苦労話が聞けてとても参考になった。
- ・実際の仕事では、技術・知識・言語などのスキルだけでなく、コミュニケーションや人間関係を作っていくことが大事だと知った。
- ・仕事とは、楽しいものであり、社会貢献できるものであると思った。
- ・これからは国際的な交流が企業や個人に求められていると感じました。グローバルな考え方、知識を育みたいです。

大学における講座の開設及び支援

群馬大学では、ルネサスの名称を冠した「ルネサステクノロジ先端アナログ回路工学講座」を開設しています。また茨城大学においても「半導体の先端製造プロセス講座」を開設するなど、次代を担うエンジニアの育成に貢献しています。

また、講座の開設とあわせて講師の派遣、実験機材の寄付等も実施しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために / 『モノづくり』教育支援

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への優しさを
目指して
- ステークホルダーとのかかわり
- 暮らしやすい社会のために
 - 半導体製品・サービスを通じた貢献
 - 次世代人材育成支援活動
 - 『モノづくり』教育支援 →
 - 地域社会との交流
 - 地域防災活動への参加
 - ボランティア活動
 - 海外拠点の社会貢献活動
 - その他の活動
- ともに明日へ向かって

マイコンカーラリーへの協賛、支援 ーモノづくり、心づくり、人づくりー

暮らしやすい社会のために

マイコンカーラリーとは、大会実行委員会支給の承認マイコンボードを搭載し、独自に製作、プログラミングした手作りのマイコンカーでタイムを競う全国規模の大会です。高校生の部と一般の部に分かれて競われ、特に高校生の部は、北海道および全国工業高等学校学校長協会の主催のもと、「モノづくり、心づくり、人づくり」をキャッチフレーズに、高校生が最先端の半導体技術に触れる機会を提供する教育的な大会として開催されています。



高校生の部のレースの様子



ルネサスは、1996年の第1回大会から参加者が使用するマイコンボードとモータの提供、コースやタイム測定ゲートなどの大会用機材の貸与、および、技術講習会の実施など13年にわたって協賛・支援を行ってきました。

子ども達が素直に興味を持てる教育機会の提供を目指して

子ども達を育てる教育的な大会を志すマイコンカーラリーは、特に「自発的に学ぶ姿勢を育む」場とするため、技術者を目指す子供たちが理屈ぬきで興味を示す「カーレース」の形態をとっています。「遊び心」を科学への興味に昇華させて、楽しみながら学べる大会運営が行われています。



参加生徒による会場の除雪作業

また、大会運営そのもの「学びの機会」として、生徒、教師、保護者による手作りで行われます。さらに科学技術に興味を持つ子ども達の裾野を広げるため、2002年から小中学生を対象とした「ミニマイコンカー製作教室」も開催し、2007年度は全国37会場で実施されています。ここではマイコンカーラリーに参加している高校生が小中学生への指導役を担っています。



大会に参加した生徒たち

ミニマイコンカーは、マイコンを中心として、部品を組み合わせるだけで簡単に組み立てられます。ルネサスは、「ミニマイコンカー製作教室」へのミニマイコンカーキットの提供、コースやタイム測定ゲートなどの大会用機材の貸与等の協賛・支援を行っています。

ものづくりの楽しさと日本の技術力を次世代へと伝えていくために

昨今では、若者の理科離れが叫ばれ、少子化に伴う学区調整などもあり次世代の技術者を育てる工業高校の数も減少しています。その中でマイコンカーラリーは、会を重ねるごとに参加者が増え2008年1月の第13回大会で延べ参加台数3万台を達成しました。

ルネサスは、このマイコンカーラリーをこれからも積極的にサポートしていくことで未来を担う優秀な技術者の育成を応援していきます。



大会表彰式の様子

グローバルな企業の責任として、海外でも『ものづくり』と『技術者の育成』を支援

日本国内における『マイコンカーラリー』を手本にベトナム、中国でも大会が開催されておりルネサスは協賛しています。

ベトナムでは、2006年からホーチミン自然科学大学(HCMUS)への教育支援として、「HCMUS-RENESAS Micom Car Rally」を協賛しています。本年はハノイ科学大学でも大会が開催されました。ルネサスは運営の

サポート、ボードの提供等を行っています。

中国の北京でも、2007年から中国教育部主催の「全国大学生 IT&AT技能大会」の一競技として「中国ルネサスマイコンカーラー大会」が開催されています。中国全土の大学生が参加し、成績優秀者には、政府公認のIT技能認定書が授与されます。

※ マイコンカーラーに関する詳細につきましては、[こちら](#)をご参照願います。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
地域社会との交流

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への優しさを
目指して
- ステークホルダーとのかかわり
- 暮らしやすい社会の
ために
- 半導体製品・
サービスを通じた貢献
- 次世代人材育成
支援活動
- 『モノづくり』教育支援
- 地域社会との交流** →
- 地域防災活動への
参加
- ボランティア活動
- 海外拠点の
社会貢献活動
- その他の活動
- ともに明日へ向かって

地域社会との交流

暮らしやすい社会のために

ルネサスでは、従来から事業所ごとにそれぞれの地域社会との様々な交流を実施してきました。近年では地域のイベントに参加するなどの協力のみでなく、「全国縦断ルネサス祭り」と銘打って「スプリングフェスタ」「夏祭り」「ソフトボールフェスタ」等、ルネサス主催の独自イベントを企画・開催し、地域の皆様からもご好評をいただいています。

ルネサスの特長として、スポーツを通じての地域貢献にも力を入れています。「ルネサス高崎女子ソフトボールチーム」による地元の学生や市民の皆様を対象にしたソフトボール教室、甲府事業所におけるバスケットボールイベントへの支援、その他各種のスポーツイベントを実施しています。ほかにルネサス所有の体育館やグラウンドを一般開放するなど地域のスポーツ振興をサポートしています。



俵武多(ねぶた)、出陣！
 (ルネサス北日本セミコンダクタ 津軽工場)



函館港祭りに参加。
 (ルネサス北日本セミコンダクタ 函館工場)



ルネサス杯ミニバスケットボール大会。
 (ルネサス甲府事業所)



ソフトボール教室。
 (ルネサス高崎事業所)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
地域防災活動への参加

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への優しさを 目指して

■ ステークホルダーと のかかわり

暮らしやすい社会の ために

半導体製品・
サービスを通じた貢献

次世代人材育成
支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

安定した事業継続と地域の安全を守る活動

暮らしやすい社会のために

ルネサス武蔵事業所では、自分たちの職場は自分たちで守るという基本理念のもと、社員による自衛消防隊を組織し、結成からおよそ50年間にわたって継続的な防災活動に取り組んでいます。

火災、地震、水害等の災害発生時にも消防隊の迅速な活動により被害を最小限にとどめ、安定的に事業を継続し、本業による社会貢献を果たします。

地域社会におけるルネサスの役割を認識し、地域の防火・防災にも協力しています。



月に2回実施される定期訓練の様子

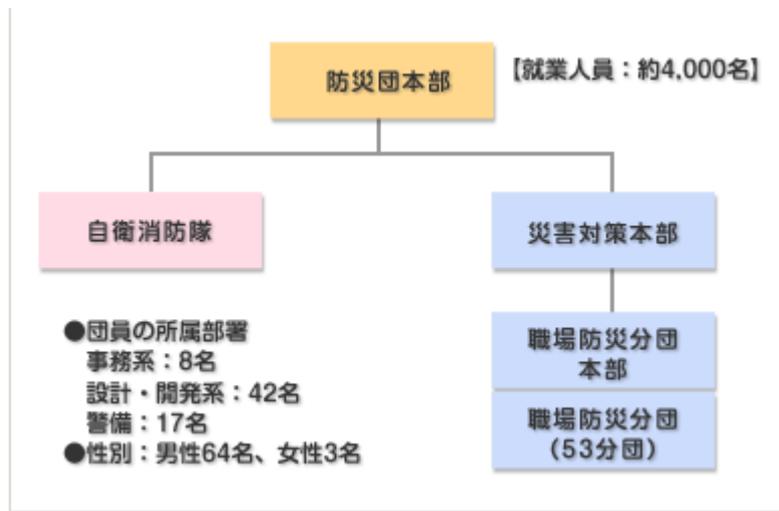
企業と社会の壁を越えて 一近隣企業、関係官庁と協働した地域防災活動一

- ・武蔵自衛消防隊は、ルネサスの敷地内の災害のみでなく、近隣の消防署の出動要請に応じて周辺地域で発生した災害への出動も行います。2007年度は出動要請がありませんでしたが、要請に対応できるよう、訓練・機材整備を心がけています。
- ・2007年7月には東京消防庁の「優良防火対象物認定表示制度」に申請し、武蔵事業所本館の防災設備に加え防災体制が認められ、認定優良防火対象物として認定されました。
- ・2007年9月には隣接企業である株式会社サミットストア小平上水本町店様およびドイト株式会社小平店様との間で、「災害活動に関する相互応援協定」を締結し、災害時の協力体制を確認しました。
- ・近隣自治体や消防署が主催する合同防災訓練にも積極的に参加しています。2008年6月に実施された小平市自衛消防訓練審査会では、他社の自衛消防隊とともに災害発生時の対応(119番通報、避難誘導、消火器操作、屋内消火栓操作等)を競い、見事優勝を果たしました。



小平市自衛消防訓練審査会で放水を実演する消防隊員

■ 武蔵事業所防災団 組織図



率先して社内の防災意識を高める

消防隊は、実際の災害時のみでなく、その活動を通じて社内の防災意識を率先して高める役割も担っています。そのため、できるだけ多くの部署から消防隊への参加を促し、年間活動計画に沿って継続的な訓練、日常的な防災点検等を実施しています。

■消防隊活動内容

- ・定期訓練(月に2回実施)
- ・総合訓練(年に4回実施)
- ・非常呼集訓練(事前通達なしで年2回実施)
- ・合宿訓練(年1回実施)
- ・構内の消防機材点検(毎日実施)
- ・出初式(年1回1月に実施)
- ・小平市総合防災訓練(震災消防訓練)への参加(年1回)
- ・救命技能認定(心肺蘇生、AED操作技術)取得
東京消防庁災害時支援ボランティアの登録



消火栓を使った放水訓練

消防隊員からのコメント



周囲のサポートがあってこそ消防隊

システムソリューション統括本部
システムソリューション第四事業部
イメージング・ネットワーク設計部
技師 **首藤新一**
(指揮班 班長)

入隊のきっかけは上長からの推薦でしたが、もともと興味があったのでかなり前向きにお受けしました。入隊して10年になりますが、消防隊の活動は通常業務と重なることも多いため、職場の方々のサポートにはとても感謝しています。自衛消防隊はある意味特殊な集団なので、現役やOBの間に「仲間意識」のようなものがあって、初対面のOBの方もこの制服を見ただけで親切にしてくれるなど、社内コミュニケーションがとても円滑になるという大きなメリットもあります。



消防隊員＝職場を守る使命感

人事・総務統括部
武蔵総務部勤労課
主任 **福壽麻由**
(本部班 副班長)

他事業所から赴任した際に「早く事業所に溶け込みたい」という想いから、武蔵事業所の伝統組織である自衛消防隊に興味を持ちました。仕事から消防隊の活動に触れる機会も多く、隊員の方々の熱い思いに接する事で「自分も、」と入隊を決意しました。隊員は、日常の業務中も消防隊の制服を着ており、消防隊員＝職場を守る使命感がみなぎっています。私の任務は広報・宣伝ですが、訓練を通じて防火・防災知識を身につけ、職場安全にむけた後方支援的役割を担っていききたいと思います。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
ボランティア活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

- イントロダクション
- ルネサスのCSR
- 法令遵守を超えて
- 個人の尊重に向けて
- 環境への優しさを
目指して
- ステークホルダーとのかかわり
- 暮らしやすい社会のために
- 半導体製品・
サービスを通じた貢献
- 次世代人材育成
支援活動
- 『モノづくり』教育支援
- 地域社会との交流
- 地域防災活動への
参加
- ボランティア活動** →
- 海外拠点の
社会貢献活動
- その他の活動
- ともに明日へ向かって

ボランティア活動

暮らしやすい社会のために

ボランティア活動は、企業として地域社会に貢献する活動と、個人のボランティアへの参加を支援する活動の二つの側面から取り組んでいます。

地域の公園、河川敷、事業所周辺の清掃活動は、地域の一員である企業市民として毎年着実に取り組んでいます。また、全国に事業所やグループ会社を持つルネサスでは、介護・福祉施設の慰問、車椅子の修理や清掃などのボランティア、公園の桜の手入れといった地域に密着した多彩な活動を展開しています。高知事業所では、水資源保全を目的とした植樹に賛同し、物部川上流域で進められている植樹活動に、県および近隣の町職員の皆様とともに参加しました。



車椅子の修理・清掃活動。
 (ルネサス武蔵事業所)



「天津町環境美化の日」に参加。
 (ルネサス九州セミコンダクタ)



「香美郡植林組合」の森林整備に参加。
 (ルネサス高知事業所)



公園の桜の手入れ。
 (ルネサス北伊丹事業所)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
海外拠点の社会貢献活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ イントロダクション

■ ルネサスのCSR

■ 法令遵守を超えて

■ 個人の尊重に向けて

■ 環境への優しさを 目指して

■ ステークホルダーとのか かわり

暮らしやすい社会の ために

半導体製品・
サービスを通じた貢献

次世代人材育成
支援活動

『モノづくり』教育支援

地域社会との交流

地域防災活動への
参加

ボランティア活動

海外拠点の
社会貢献活動

その他の活動

ともに明日へ向かって

海外拠点での社会貢献活動

暮らしやすい社会のために

ルネサスには、海外に23社のグループ会社があり、それぞれ独自の社会貢献活動に取り組んでいます。2007年度は、オフィスの紙のリサイクルや不在時の消灯、自家用車の利用を控えバスなどの公共交通機関の利用を促がすなど、省エネへの取り組み、河川の清掃などの環境保全活動、ガンと闘う団体の活動への参加、地元の学校に講師として出向くなど、会社及び従業員が積極的に取り組みました。今後も様々な活動をととして、ルネサスグループ全体の社会貢献活動の輪を拡げてまいります。



大学でのマイコン講座開設。
(ルネサス ソリューション 北京)



河川の清掃活動。
(ルネサス セミコンダクタ マレーシア)



救急車の寄贈。
(ルネサス セミコンダクタ マレーシア)



ガンと闘う団体の活動への参加。
(ルネサス テクノロジ アメリカ)

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / 暮らしやすい社会のために /
その他の活動

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への優しさを
目指して](#)[ステークホルダーとのかかわり](#)[暮らしやすい社会の
ために](#)[半導体製品・
サービスを通じた貢献](#)[次世代人材育成
支援活動](#)[『モノづくり』教育支援](#)[地域社会との交流](#)[地域防災活動への
参加](#)[ボランティア活動](#)[海外拠点の
社会貢献活動](#)[その他の活動](#)[ともに明日へ向かって](#)

その他の活動

暮らしやすい社会のために

ルネサスグループでは、世界各国や日本全国で起きている地震等の災害に対する義援金の協力を積極的に行っています。また、武蔵事業所において敷地の一部を公園として市に提供し、隣接道路の渋滞緩和策として路線バスを会社敷地内のロータリーに引き込むなど、地域の人々に役立つ様々な活動を実施しています。

2007年度ルネサスグループ地域貢献活動

| 件数 | 内容 | 件数 |
|-----------|---|-----|
| イベント関連 | ルネサス主催、または日立製作所や三菱電機との共催によるイベントの開催や、地域の祭りや展示会などへの人員派遣、寄付、運営への参加など | 91件 |
| 寄付 | 募金、使用済切手およびプリペイドカードの寄付 | 50件 |
| ボランティア | 清掃活動、病院・介護施設などへの慰問 | 60件 |
| スポーツ交流 | シンボルスポーツ、専門部などによる技術指導、スポーツ大会開催など | 19件 |
| 施設開放 | 体育館、グラウンド、テニスコートなどを地域住民、団体へ開放や工場見学の受入 | 52件 |
| 講座開設・講師派遣 | 群馬大学、茨城大学に講座開設、官公庁主催行事への講師、試験官の派遣 | 8件 |
| 交通安全 | 地域の交通安全運動への人員の派遣、参加 | 5件 |
| その他 | 社外団体活動、インターンシップ、各拠点での献血協力など | 43件 |

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり /
ともに明日へ向かって

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ [イントロダクション](#)

■ [ルネサスのCSR](#)

■ [法令遵守を超えて](#)

■ [個人の尊重に向けて](#)

■ [環境への優しさを
目指して](#)

■ [ステークホルダーと
のかかわり](#)

■ [暮らしやすい社会の
ために](#)

■ [ともに明日へ向かって](#) →

お客様満足のために

取引先様コメント

サプライチェーンを

通じたCSR活動

ステークホルダーとのかかわり ともに明日へ向かって

RENESAS CSR REPORT 2008

ステークホルダーと協働、連携して明日を目指すルネサスの活動をご覧ください。

お客様満足のために

当社の製品をご購入いただいている企業の皆様の声に耳を傾け、心からお客様に満足いただける製品を開発していくためにさまざまな取り組みを実施しています。

取引先様コメント

SCM(サプライチェーン・マネジメント)パートナーであるルネサスの取引先様からのコメントをご紹介します。

サプライチェーンを通じたCSR推進

ルネサスでは、社会貢献、環境保全、顧客満足の観点からサプライチェーンを通じた適切な調達を実施しています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / ともに明日へ向かって / お客様満足のために

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

■ [イントロダクション](#)

■ [ルネサスのCSR](#)

■ [法令遵守を超えて](#)

■ [個人の尊重に向けて](#)

■ [環境への優しさを
目指して](#)

■ [ステークホルダーとのかかわり](#)

■ [暮らしやすい社会の
ために](#)

■ [ともに明日へ向かって](#)

[お客様満足のために](#) →

[取引先様コメント](#)

[サプライチェーンを
通じたCSR活動](#)

お客様満足のために

[ともに明日へ向かって](#)

ルネサスでは、当社の製品をご購入いただいている企業の皆様の声に耳を傾け、心からお客様に満足いただける製品を開発していくためにさまざまな取り組みを実施しています。ご提供していく製品の品質に責任をもって事業を推進し、プロダクトアウトではなくマーケットインの発想を常に心がけ、お客様対応力の強化を図っています。

「顧客満足度調査」の実施

多くのお客様のご要望を把握する手段として、ルネサスでは毎年「顧客満足度調査」を実施しています。この満足度調査は、ルネサス製品をご購入いただいた企業のご担当者にサービス対応、品質などの種々の項目について評価していただくもので、2007年は国内外のお客様である企業百数十社にアンケートを配布し、忌憚のないご意見を伺いました。

2004年度の調査開始当初から80%以上という高い回答率でアンケートにご協力いただいておりますが、直近の2007年には90%を超えるなど、お客様側の認知度が向上してきたとともに、当社社員の意識向上にも繋がっており、この満足度調査が年を追うごとに根付いてきたと考えています。

調査の集計結果は、年2回社内で開催される「品質マネジメントレビュー会議」において報告することで情報を社内で共有し、お客様へのサービス向上施策、およびトップの意思決定やマネジメント、などに反映させています。

[←前のページへ](#) | [次のページへ](#)

ホーム / CSRへの取り組み / ステークホルダーとのかかわり / **ともに明日へ向かって / 取引先様コメント**

[このページへのご意見](#)
[このページを印刷](#)

[イントロダクション](#)[ルネサスのCSR](#)[法令遵守を超えて](#)[個人の尊重に向けて](#)[環境への優しさを
目指して](#)[ステークホルダーとのかかわり](#)[暮らしやすい社会の
ために](#)[ともに明日へ向かって](#)[お客様満足のために](#)[取引先様コメント](#)[サプライチェーンを
通じたCSR活動](#)

取引先様コメント

[ともに明日へ向かって](#)

最小の負荷で最高の製品が お届けできる体制づくりを。

SCM(サプライチェーン・マネジメント)パートナー
 大日本印刷株式会社
 電子デバイス事業部 営業第1本部 営業第3部
 部長 **太田 康夫** 様



ルネサスの半導体サプライチェーンの一員として、御社が果たしている役割、また常日頃気をつけていることはなんでしょうか？

当社は、ルネサステクノロジ様より「フォトマスク」および「IC用リードフレーム」という製品を主に受注しておりますが、サプライチェーンを構成する一員として常に“安定した品質”の製品をお届けできるように心掛けています。さらに災害等の事態に備えてBCP(事業継続計画)を構築し、事業を通じた社会的責任を継続して果たせるよう、サプライチェーンパートナーの一員としての責務をさらに高めていきたいと考えています。

その“安定した品質”を実現するために苦労されているポイントはなんでしょうか？

例えば「フォトマスク」は、半導体製品の原版ですので、全く同じモノを何万個も大量生産する製品ではありません。同一フォトマスクの複数枚オーダーは基本的にはありませんし、つくり溜めもできません。また、半導体関連製品の性質上、時間単位での短納期を求められることが常となります。つまり短納期でいかに十分な品質のフォトマスクを安定的に納めるか、全く同じモノの量産ではない、一点一様のフォトマスクの量産でいかに不良率を減らし、更にはスペックの範囲内であっても、過去から将来納めるフォトマスク間での特性の変動をいかに抑えるか、これが当社の考える“安定した品質”実現のポイントになります。

製品の環境配慮は、どのように取り組まれていますか？

環境面では、グリーン調達のご要望にお応えするために弊社製品がRoHS指令の要求事項をすべて満たすものであることはもちろん、製造工程においても有害物質の代替、使用量の削減および製品の小型化を通じた省資源などにも取り組んでいます。

CSRおよび環境という側面で、今後ルネサスに期待することは？

今後も両社協力のもと、最小の負荷で最高の製品が届けられる体制づくりを行うとともに、新しい技術・製品の積極提案を行ってまいりたいと思います。ルネサステクノロジ様には、省資源化に貢献するあらゆるパッケージング技術の開発をお願いしたいと思います。

[←前のページへ](#) | [次のページへ→](#)

イントロダクション**ルネサスのCSR****法令遵守を超えて****個人の尊重に向けて****環境への優しさを
目指して****ステークホルダーと
のかかわり****暮らしやすい社会の
ために****ともに明日へ向かって****お客様満足のために
取引先様コメント****サプライチェーンを
通じたCSR活動**

サプライチェーンを通じたCSR推進

[ともに明日へ向かって](#)

ルネサスでは、社会貢献、環境保全、顧客満足の観点からサプライチェーンを通じた適切な調達を実施しています。

具体的には、事前の説明や、取引開始の際に取り交わす契約書に盛り込まれた社会貢献に対する要望、環境保全に関する要望等をご理解いただいた上で、お取引をお願いしています。

さらに、日々のコミュニケーションに加え、ルネサスの調達方針をお取引先にご理解いただくための説明会を開催し、特に強調したい時事的な問題については、この説明会の場で改めて説明しています。

また、本社で定めた調達基準などを各拠点の調達部署や社内全般に浸透させるため、仕入れ担当のマナーミーティングを定期的で開催しています。

グリーン調達の考え方

製品に使用する原材料等の調達にあたっては、環境保全を積極的に推進しているサプライヤーの製品や環境負荷が少なく、有害物質を含まないものを優先的に購入するグリーン調達を実施しています。

ルネサスのお客様のご要望や国内外の各種規制を踏まえ、直接取引のあるサプライヤーに限らず、サプライヤーのさらに上流にいるサプライヤーを含め、サプライチェーン全体で当社グリーン調達の浸透を図っています。

サプライヤーへの支援体制

グリーン調達では、大手のサプライヤーが自己管理で要望事項を主体的に満たしているケースが多く見られる一方で、中小のサプライヤーについては、自社の自助努力だけでは期待される環境保全への対応に難航しているケースもあります。

そうしたサプライヤーへの支援のため、「外部刺激の提供」と「自主的取り組み支援」を活動の両輪として、中小サプライヤーを中心に定期的な訪問を実施しています。

当社担当者の訪問など各種のコミュニケーションの場を通じて、常に外部からグリーン調達対応への動機付けを行い、ルネサスの要望に対する取り組みを受け身ではなく、サプライヤー自身が意識を高め積極的にグリーン調達に取り組めるようになって頂く試みを推進しています。

SCM調達先へのCSR推進

ルネサスでは、自社のみならず、事業プロセスに参画するすべてのパートナー企業と一丸となって、サプライチェーン全体でのCSR活動に取組み、社会の諸要請に応えることが大変重要と考えています。

そこで、ルネサスのCSRに対する考え方を理解いただき、共通の視点に立って活動を推進していくため、今般、CSR推進ガイドブックを作成、パートナー企業各社に配布し、CSR意識の向上と積極的な推進活動をお願いしています。

また、パートナー企業に対し、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 作成のチェックシートにもとづいたアンケート調査を実施しており、この結果を踏まえて、今後のサプライチェーン全体のCSR活動を進めてまいります。

[←前のページへ](#)